



取扱説明書

卓上型IPフォン VP-2100

はじめに

1 ご使用の前に

2 導入ガイド

3 基本操作

4 応用操作

5 各種機能の設定(メニュー画面)

6 ご参考に

Icom Inc.

はじめに

このたびは、本製品をお買い上げいただきまして、まことにありがとうございます。

本製品は、弊社製VoIP機器に接続することで、内線や外線通話ができる卓上型IPフォンです。

ご使用の前に、この取扱説明書をよくお読みいただき、本製品の性能を十分発揮していただくとともに、末長くご愛用くださいますようお願い申し上げます。

※本書では、弊社製VoIP機器の接続、設定などは、完了しているものとして説明しています。

※商用IP電話業者の回線や公衆電話回線に対応した弊社製VoIP機器(SIPサーバー)に本製品を収容することで、外線通話ができます。

※本書は、Ver.1.05のファームウェアを使用して説明しています。

取扱説明書の構成について

本製品に付属の「ご使用になる前に」(別紙)と「ご利用ガイド」(別紙)、弊社ホームページに掲載の「取扱説明書」(本書)で構成されています。

ご使用になる前に(別紙)

はじめて本製品をお使いになる前に、知っておいていただきたい安全上のご注意を説明しています。

ご利用ガイド(別紙)

はじめて本製品をお使いになる前に、知っておいていただきたい本製品の基本的な操作方法などについて説明しています。

取扱説明書(本書)

IP電話、リモートコミュニケーションモードでの各種機能や使用方法、別売品などについて記載しています。

※本書に記載されている内容は、2024年1月時点の情報です。最新の情報は、弊社ホームページでご確認ください。

登録商標/著作権について

アイコム、ICOM、ICOMロゴ、TELELINKは、アイコム株式会社の登録商標です。

その他、本書に記載されている会社名、製品名およびサービス名は、各社の商標または登録商標です。

なお、本文中ではTM、®などのマークを省略しています。

本書の内容の一部または全部を無断で複写/転用することは、禁止されています。

はじめに

本製品の特長

- ◎ 外線/内線で通話ができるIP電話モードと、WLAN無線機と通話ができるリモートコミュニケーターモードを搭載
- ◎ ランプにより状態が確認できる24個のプログラマブルキーを搭載
- ◎ スピーカーフォン機能に対応
- ◎ PoE受電機能に対応
- ◎ 角度変換スタンド装備
- ◎ 壁かけ設置に対応

別売品について (2024年1月現在)

- ◎ BC-207S(ACアダプター)
- ◎ SA-5(イーサネット電源供給ユニット)

別売品についてのご注意

弊社製別売品は、本製品の性能を十分に発揮できるように設計されていますので、必ず弊社指定の別売品をお使いください。

弊社指定以外の別売品とのご使用が原因で生じる本製品の破損、故障、または動作や性能については、保障対象外とさせていただきますので、あらかじめご了承ください。

有寿命部品について

別売品のACアダプターは、有寿命部品です。ACアダプター交換の目安は、使用頻度や使用環境などにより異なりますが、使用時の周囲温度が25℃で約5年です。

電気通信事業法のご注意

- ◎ 本製品は、電気通信事業法に基づいて、設計認証を受けた製品です。分解や改造をしないでください。
- ◎ 本製品を使用できるのは、日本国内に限られています。本製品は、日本国内での使用を目的に設計・製造しています。したがって、日本国外で使用された場合、本製品およびその他の機器を壊すおそれがあります。また、その国の法令に抵触する場合がありますので、使用できません。

取り扱い上のご注意

- ◎ 本製品は一般事務用機器として設計されています。消防法令に定義された非常用放送設備にはご使用いただけません。
- ◎ 本製品は、高度な信頼性が必要な用途に使用されることを目的とした製品ではありません。本製品が原因で発生したいかなる損害についても弊社は一切その責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。
- ◎ パソコンやその他の周辺機器の取り扱いは、それぞれに付属する取扱説明書に記載する内容にしたがってください。
- ◎ 次に示す内容をよくお読みになってから、本製品の設定ファイルや弊社ホームページ<https://www.icom.co.jp/>より提供されるアップデート用ファームウェアファイルをご使用ください。本製品以外の機器への書き込み、改変による障害、および書き込みに伴う本製品の故障、誤動作、不具合、破損、データの消失、または停電などの外部要因により通信、通話などの機会を失ったために生じる損害や逸失利益、または第三者からのいかなる請求についても当社は一切その責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。
- ◎ 本製品が原因で発生した債務不履行、または不法行為に基づく損害賠償の責任は、当社に故意、または過失のある場合を除いて、本製品の購入代金と同等金額を上限といたします。
- ◎ 本製品に隠れた瑕疵があった場合、無償にて当該瑕疵を修理、または瑕疵のない同一製品、もしくは同等品に交換いたしますが、当該瑕疵に基づく損害賠償の責任は一切負いません。

ファームウェアの自動更新について

本製品は、自動的にファームウェアが更新されることがありますので、あらかじめご了承ください。

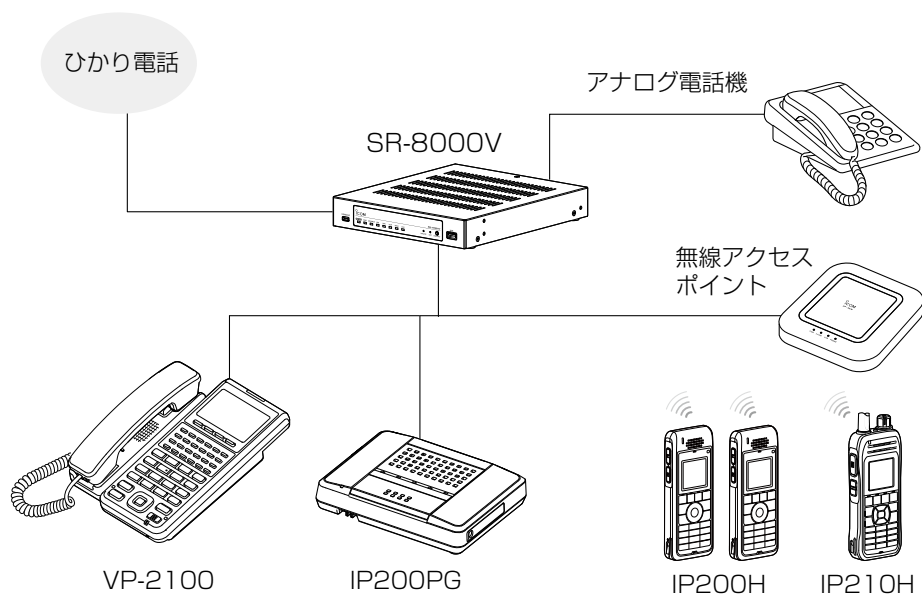
※更新中は、本製品をご利用いただけませんのでご注意ください。

はじめに

本製品の概要

本製品は、ネットワークを経由して、弊社製IP電話機やWLAN無線機などを呼び出しできる卓上型IPフォンです。
※ご利用になるためには、弊社製VoIP機器(SIPサーバー/コントローラー)が必要です。

構築例



1 章

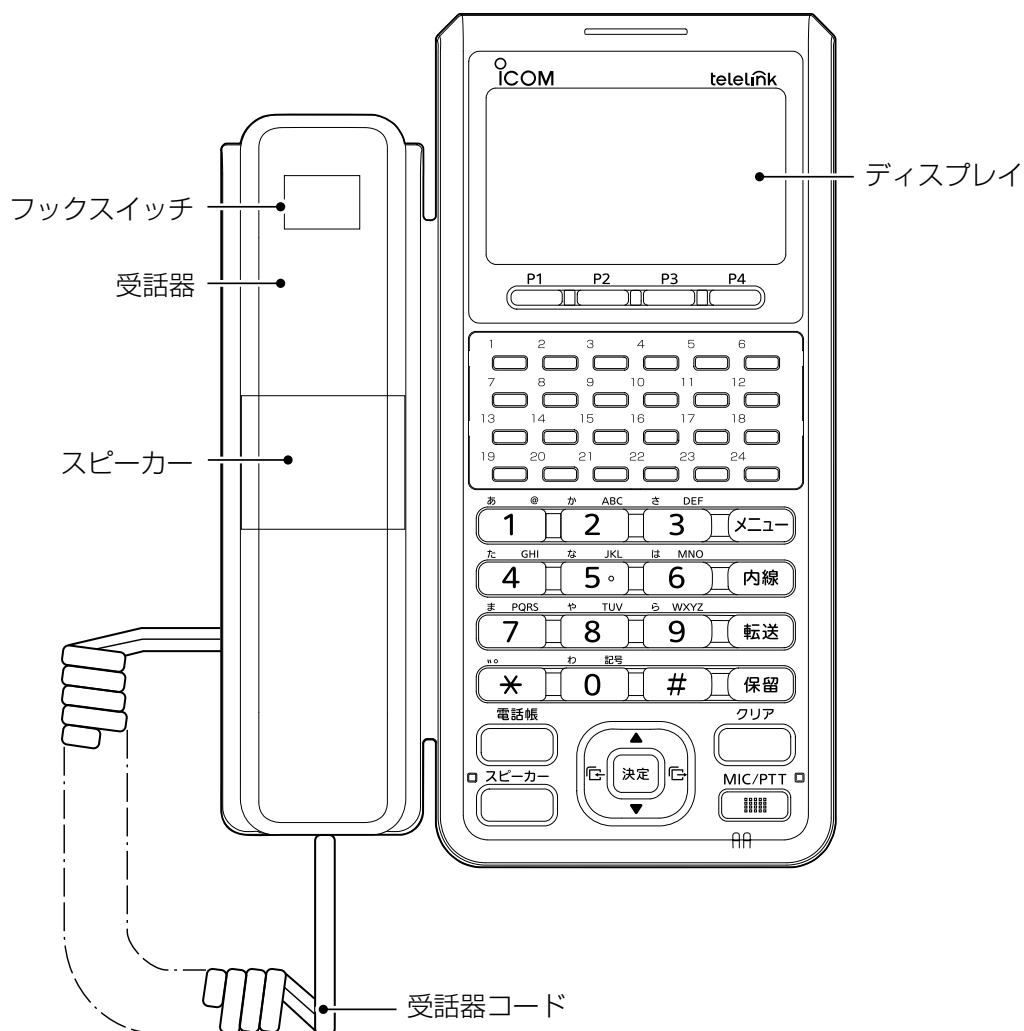
ご使用の前に

各部の名称と機能	1-2
■ 前面部	1-2
■ 底面部/側面部	1-3
■ 操作部	1-4
■ ディスプレイ	1-5
■ ランプの状態と動作	1-6
設置について	1-7
■ 設置場所について	1-7
■ 寸法図	1-7
■ 壁に設置するには	1-7
接続して電源を入れる	1-8
■ ケーブルを固定するときは	1-9

1 ご使用の前に

各部の名称と機能

■ 前面部



1 ご使用の前に

各部の名称と機能

■ 底面部/側面部

[USB] ポート

個別電話帳(P.6-3)を書き込むとき、USBメモリー(市販品)を接続します。

※USBメモリー以外は、接続しないでください。

[LAN] ポート

LANケーブル(市販品：カテゴリー5e以上)を使用して、HUBなどのネットワーク機器を接続します。

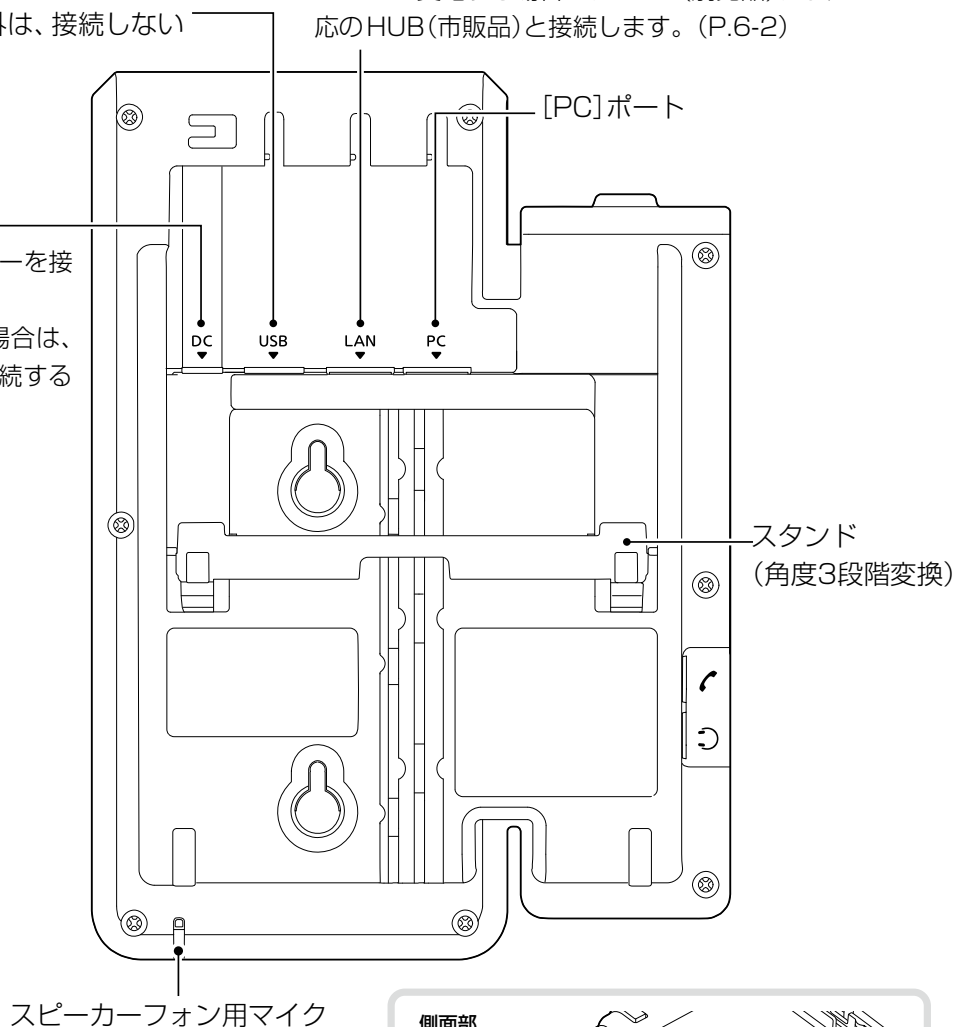
※PoEから受電する場合は、SA-5(別売品)、またはIEEE802.3at規格対応のHUB(市販品)と接続します。(P.6-2)

DCジャック

別売品のACアダプターを接続します。

※PoEから受電する場合は、ACアダプターを接続する必要はありません。

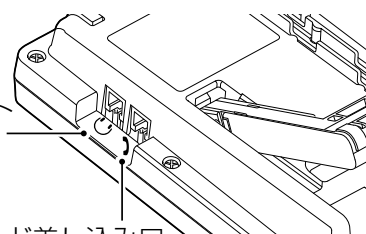
[PC] ポート



側面部

ヘッドセット
差し込み口

受話器コード差し込み口



[PC] ポートについて

[PC] ポートに接続できるパソコンは1台だけです。

HUBを使用して複数のパソコンを接続すると、通話が途切れたり、ノイズが発生したりすることがあります。

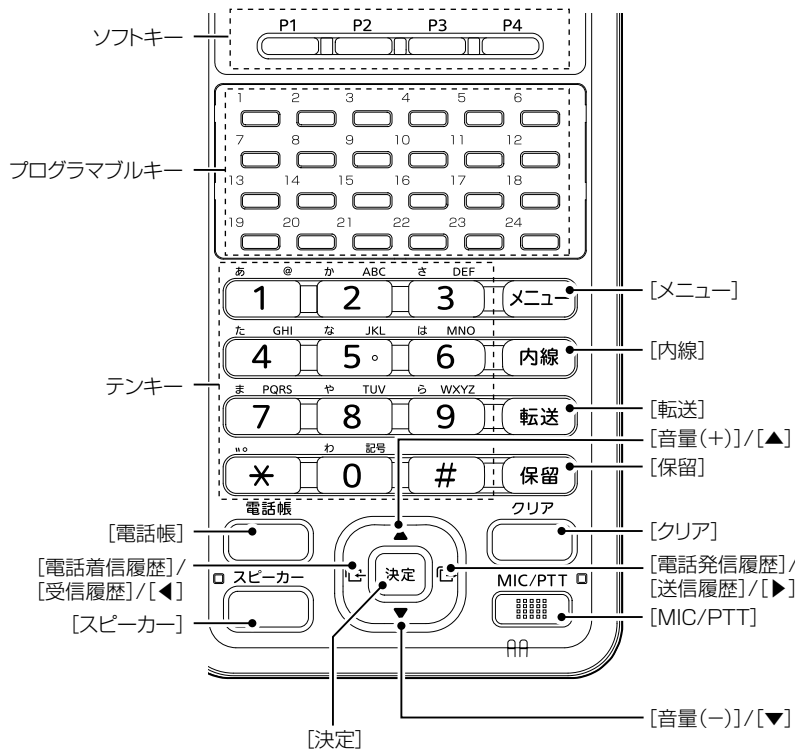
また、データ伝送量の多いパソコンやサーバー機器は[PC]ポートに接続しないでください。

接続しても十分な性能を発揮できないことがあります。

1 ご使用の前に

各部の名称と機能

■ 操作部



ソフトキー プログラマブルキー	各種機能を割り当てできます。(P.4-2)
テンキー	設定時の数字や文字、電話発信時の電話番号、リモートコミュニケーターモード時の個別/グループ呼出番号を入力するときに使用します。
[決定]	設定項目の選択、メッセージやプレゼンスの送信、動作モードのIP電話、またはリモートコミュニケーターの優先切り替え(P.2-5)をします。
[電話帳]	待受画面時 : 電話帳、アドレス帳を表示します。★ ¹ 入力画面時 : 文字入力を切り替えます。
[スピーカー]	スピーカーフォン状態に切り替えます。
[メニュー]	メニュー★ ² 画面を表示します。
[内線]	内線で通話するときに使用します。
[転送]	通話を保留して転送するときに使用します。
[保留]	通話中の内線、外線をパーク保留/外線保留するときに使用します。
[クリア]	メニュー画面時 : 階層を1つ戻ります。 入力画面時 : 文字を削除します。
[MIC/PTT]	スピーカーフォン使用時 : マイクをON/OFFにします。 リモートコミュニケーターモード時 : キー押しつづけているあいだ、送信状態になります。

[音量(+)]/[▲]	受話器を置いた状態 : 本体スピーカーの通話音を大きくします。 受話器を上げた状態 : 受話器の音量を大きくします。 着信中 : 着信音を大きくします。 メニュー画面時 : 項目を1つ上に移動します。
[電話着信履歴]/[受信履歴]/[◀]	待受画面時 : 電話着信履歴、または受信履歴を表示します。★ ¹ メニュー画面時 : 階層を1つ戻ります。
[電話発信履歴]/[送信履歴]/[▶]	待受画面時 : 電話発信履歴、または送信履歴を表示します。★ ¹ メニュー画面時 : 階層を1つ進みます。
[音量(-)]/[▼]	受話器を置いた状態 : 本体スピーカーの通話音を小さくします。 受話器を上げた状態 : 受話器の音量を小さくします。 着信中 : 着信音を小さくします。 メニュー画面時 : 項目を1つ下に移動します。

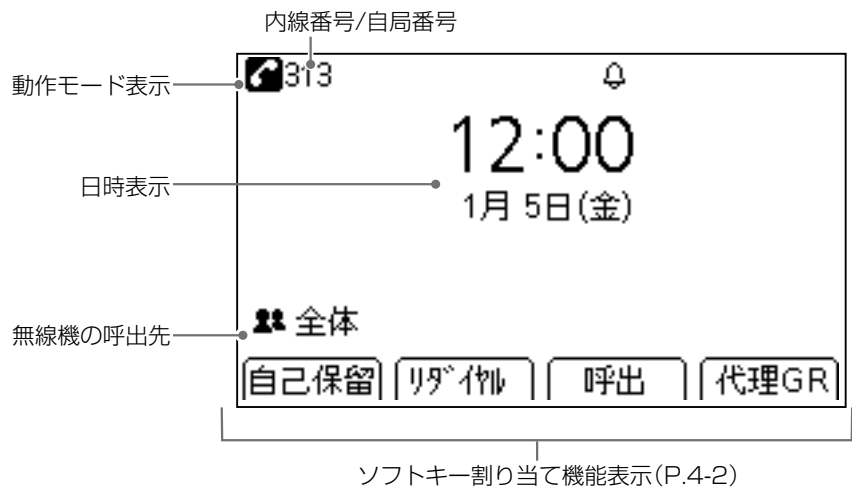
★¹ 動作モードが「IP電話+リモートコミュニケーター」のときは、優先しているモードによって表示される項目が変わります。(P.2-5)

★² メニュー項目は、「メニュー項目一覧」をご覧ください。(P.5-2)

1 ご使用の前に

各部の名称と機能

■ディスプレイ



	動作モード：IP電話+リモートコミュニケーター（IP電話優先）
	動作モード：IP電話
	動作モード：IP電話+リモートコミュニケーター（リモートコミュニケーター優先）
	動作モード：リモートコミュニケーター
	SIPサーバー未接続
	コントローラー未接続
	全体/グループ呼び出し
	トークグループ呼び出し
	個別呼び出し
	ポケットビープ機能設定時
	Pベル機能表示
	受信音声ミュート設定時

「F」が表示されたときは

「F」表示が点滅しているときは、新しいファームウェアをダウンロード中です。

◎ 点滅中は電源を切らないでください。ダウンロードが完了すると、「F」が点灯します。

◎ 「F」表示の点灯がつづく場合は、ご都合のよいときに、電源を入れなおして再起動してください。

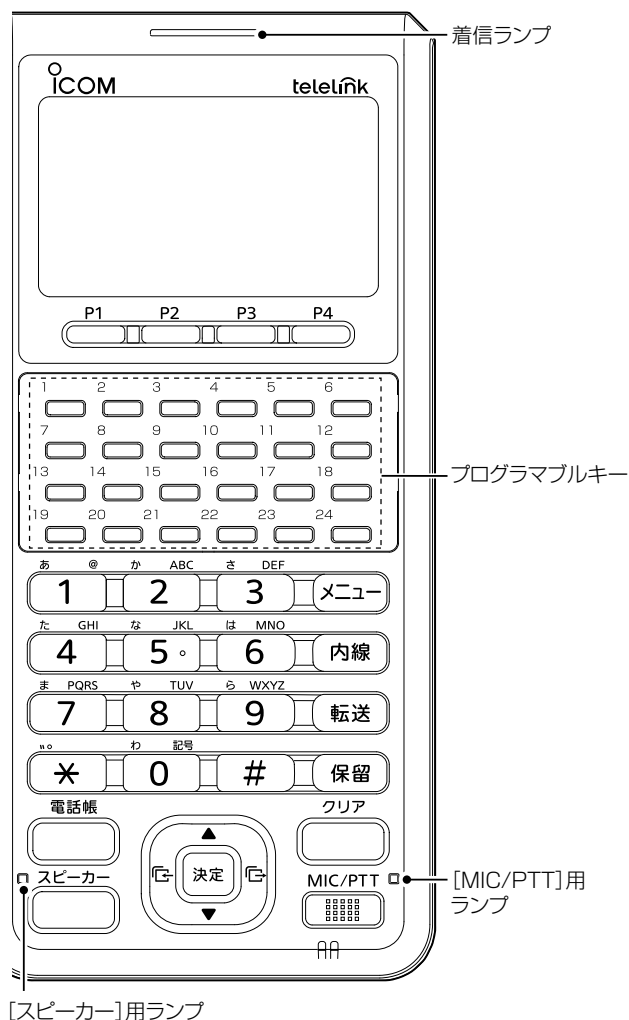
※使用しているファームウェアバージョンは、「システム」(P.5-3)で確認できます。



1 ご使用の前に

各部の名称と機能

■ ランプの状態と動作



着信ランプ

緑点滅	内線着信中、外線着信中
赤点灯	リモートコミュニケーターモードで送信中
緑点灯	リモートコミュニケーターモードで受信中
橙点灯	リモートコミュニケーターモードで送受信 中(複信通信時)

プログラマブルキー(P.4-3)

緑点灯	外線使用中、 一部の機能キーが有効
緑低速点滅	外線保留中、パーク保留中
赤点灯	ほかの電話機で外線使用中、 一部の機能キーが有効
赤低速点滅	ほかの電話機で外線保留中、 ほかの電話機でパーク保留中
赤高速点滅	外線着信中
橙点灯	一部の機能キーが有効
青点灯	一部の機能キーが有効

[スピーカー]用ランプ

黄点灯	スピーカーフォンON
-----	------------

[MIC/PTT]用ランプ

赤点灯	スピーカーフォンマイクON リモートコミュニケーターモードで送信中
-----	--------------------------------------

1 ご使用の前に

設置について

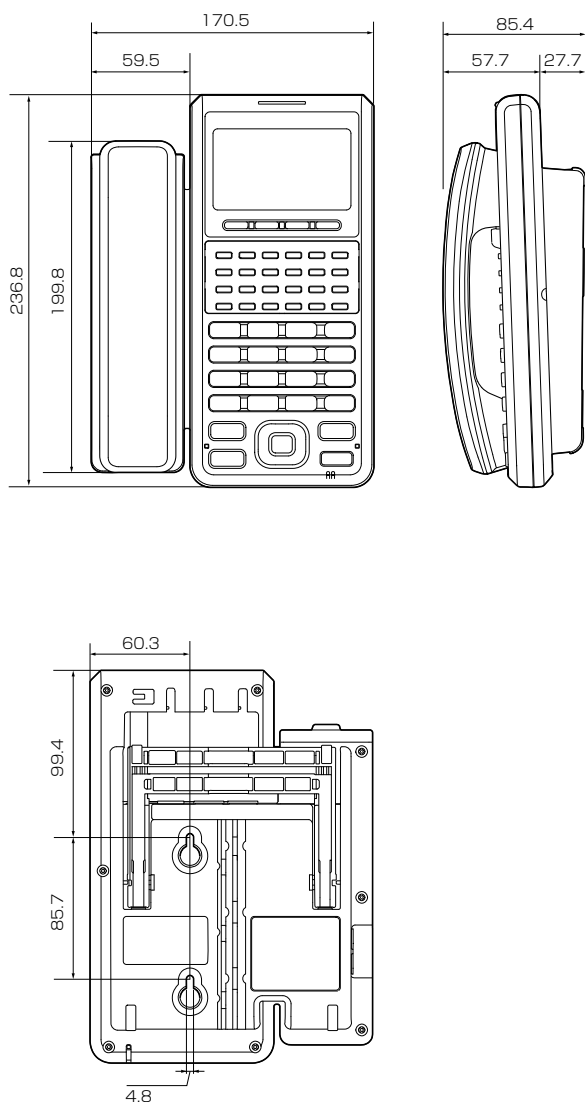
■ 設置場所について

設置条件により、通信範囲や速度に影響がありますので、次のような場所に設置してください。

- ◎ 振動や傾きがなく、落下の危険がない安定した場所
 - ◎ VP-2100とLANケーブルの配線距離(総延長)がEthernet規格の最大長制限(100m)を超えないような場所
- ※ご使用のLANケーブルによっては、Ethernet規格の最大長制限より短くなることがあります。

■ 寸法図

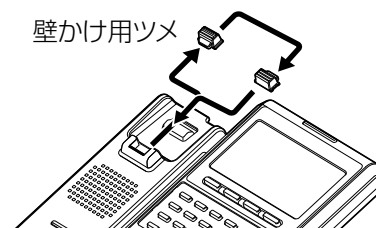
壁面の固定場所を決定するときの参考としてください。



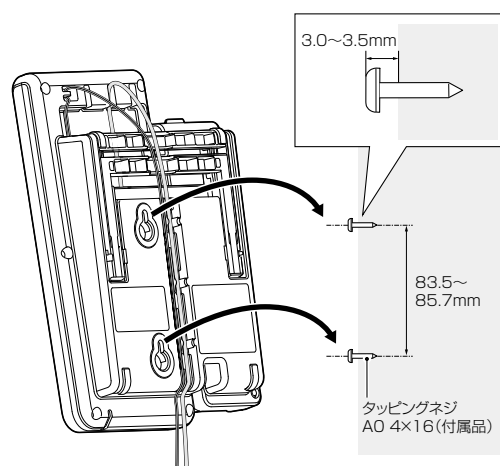
■ 壁に設置するには

付属のタッピングネジを使用して、VP-2100を壁かけできます。

1. 壁かけ用ツメをはずし、上下を逆にして差し込みます。



2. 各ケーブルを本製品に接続します。
本製品の下方方向にケーブルを配線する場合は、底面部の溝に通してください。
(電源ケーブル用の幅: 3mm、LANケーブル用の幅: 5mm)
3. 付属のタッピングネジを壁面に取り付けます。
4. 本製品を壁面に固定します。
※壁からネジ頭までの間隔は目安です。
5. 受話器や電源などを接続します。
起動後、待受画面が表示されることを確認してください。



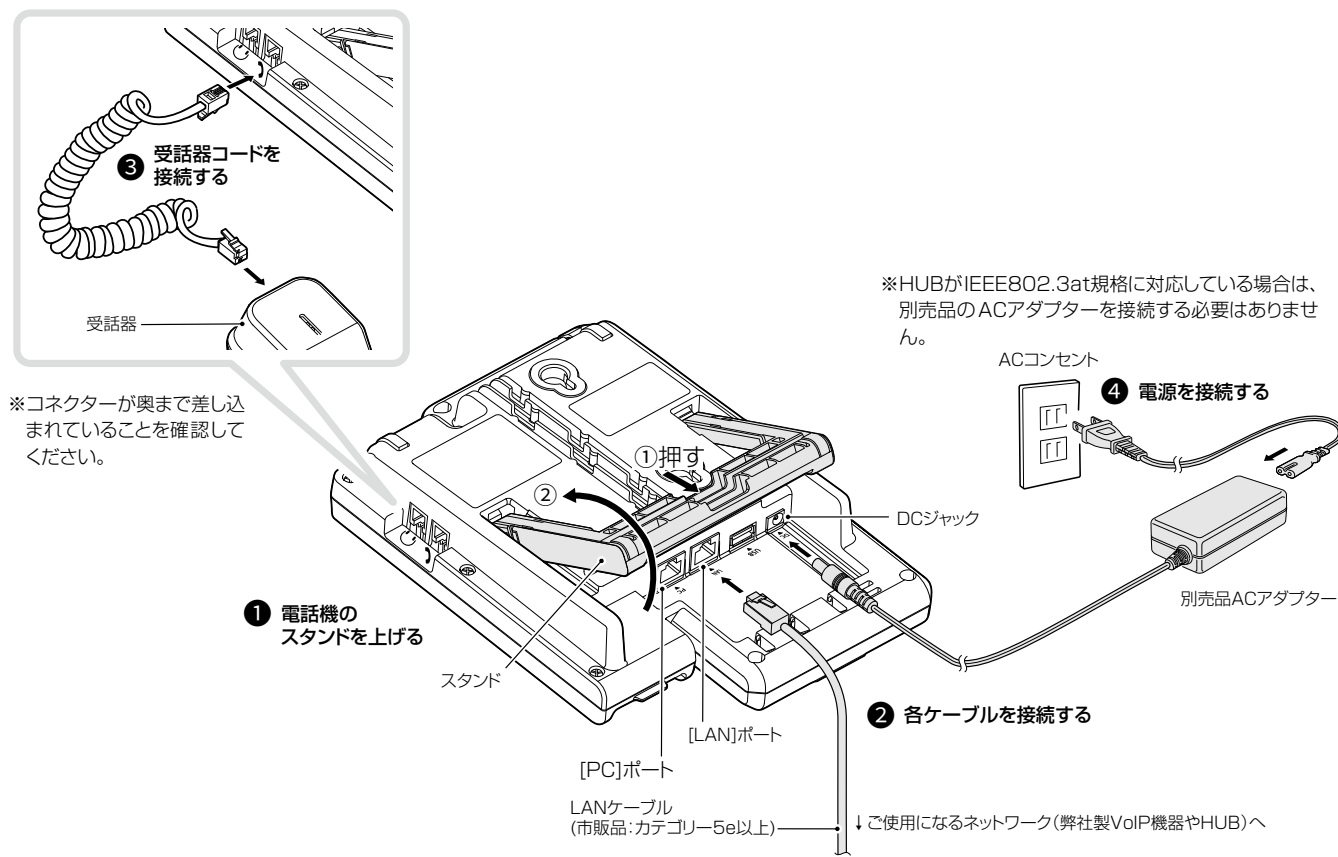
△注意

- ◎ネジがしっかり固定できる壁や柱に取り付けてください。
- ◎石膏ボード、ALC(軽量気泡コンクリート)、コンクリートブロック、厚さ18mm以下の合板など強度の弱い壁には取り付けしないでください。
落下して、けがの原因になることがあります。

1 ご使用の前に

接続して電源を入れる

本製品を使用するには、弊社製VoIP機器(SIPサーバー/コントローラー)に接続できるネットワーク環境が必要です。



ご参考

- ◎設置したとき傾かないように、本製品の溝(幅: 5mm)に収まるLANケーブル(スリムブーツタイプ)をご用意ください。
- ◎PoEから受電する場合は、SA-5(別売品: IEEE802.3at規格対応)、またはIEEE802.3at規格対応のHUB(市販品)と接続してください。(P.6-2)
- ◎出荷時、IPアドレスを自動取得する設定になっています。
本製品を固定IPでご使用になる場合は、本製品のIPアドレス自動取得の設定を「OFF」に変更してください。(P.2-3)

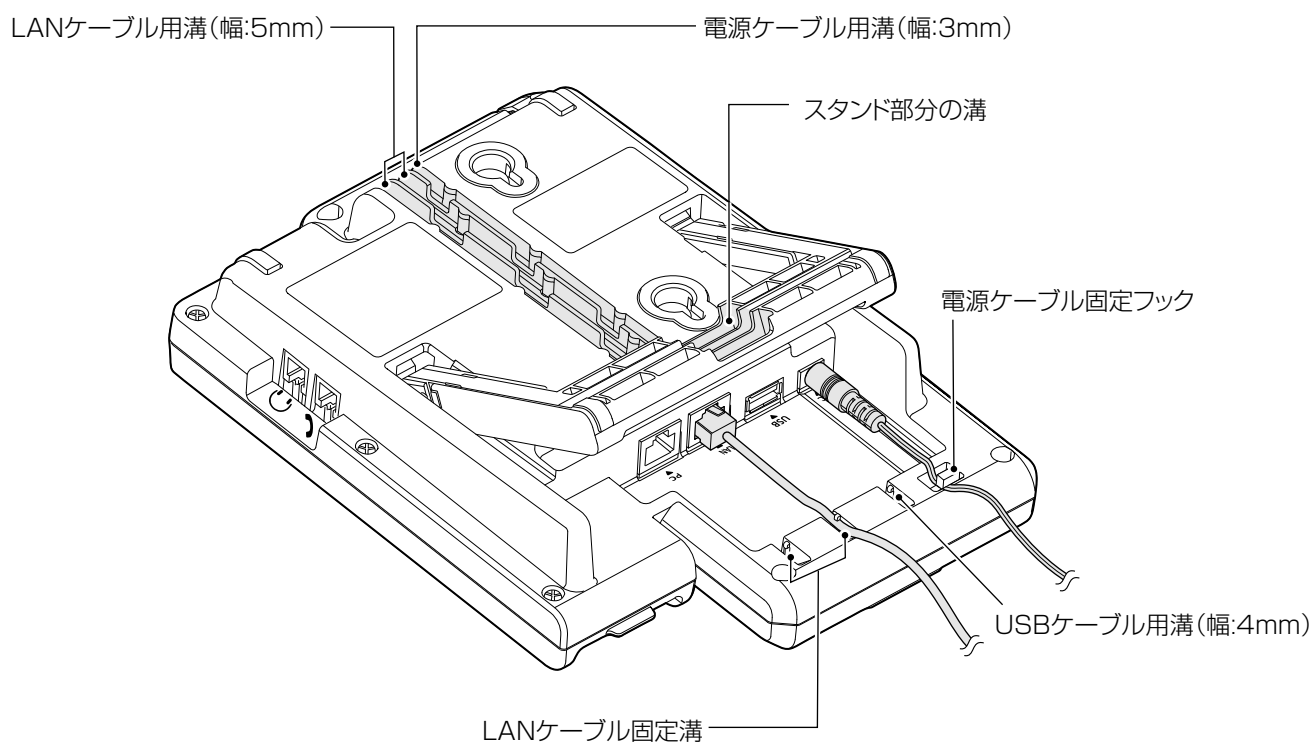
1 ご使用の前に

接続して電源を入れる

■ ケーブルを固定するときは

下図のように、別売品ACアダプターの電源ケーブルやLANケーブルを溝に沿って取り付けると、抜け防止になります。
※本製品の下方向にケーブルを配線する場合は、底面部の各溝に通してください。

(電源ケーブル用の幅：3mm、LANケーブル用の幅：5mm、USBケーブル用の幅：4mm)



初期設定について.....	2-2
■ 管理者設定にアクセスする	2-2
ネットワーク設定.....	2-3
■ 固定IPアドレスを設定するときは	2-3
動作モード設定.....	2-5
■ 本製品の動作モードについて	2-5
■ 動作モードを変更する	2-5
IP電話モード設定	2-6
リモートコミュニケーターモード設定.....	2-9

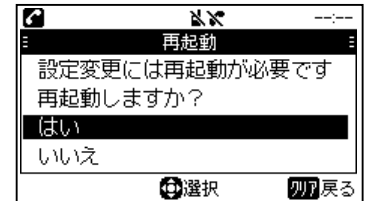
2 導入ガイド

初期設定について

本製品を使用するには、弊社製VoIP機器(SIPサーバー/コントローラー)に接続できるネットワーク環境が必要です。各動作モードに必要な設定をするには、事前にネットワーク、弊社製VoIP機器の設定を確認し、「管理者設定」から設定してください。

※ネットワーク設定、IP電話モード設定、リモートコミュニケーターモード設定を反映させるには、本製品を再起動する必要があります。

再起動画面が表示されたときに、すぐに再起動する場合は、「はい」を選択してください。あとから再起動する場合は、メニュー画面の「再起動」(P.5-3)を選択するか、本製品の電源を入れなおしてください。



再起動画面

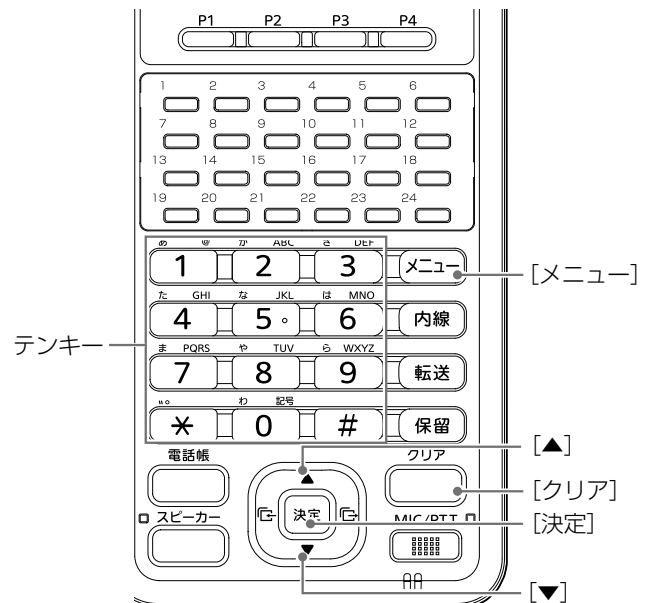
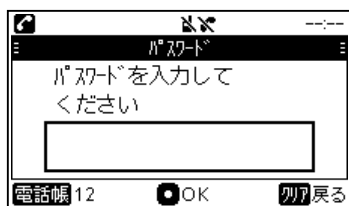
■ 管理者設定にアクセスする

1. [メニュー]を押します。
2. [▲]/[▼]を押して、「管理者設定」を選択し、[決定]を押します。



3. パスワード入力画面が表示されます。
4. 出荷時のパスワード(0000)、または弊社製VoIP機器で設定したパスワードを入力し、[決定]を押します。
 - [クリア]を押すと1文字削除、長押しするとすべて削除します。

※パスワードは弊社製VoIP機器から変更できます。



2 導入ガイド

ネットワーク設定

出荷時、IPアドレスを自動取得する設定になっています。

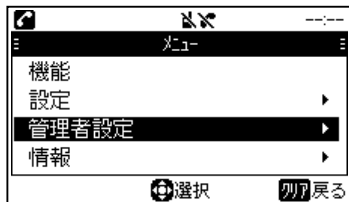
本製品を固定IPでご使用になる場合は、下記手順で操作します。

※IPアドレス自動取得を「ON」でご利用の場合は、2-6ページへ進みます。

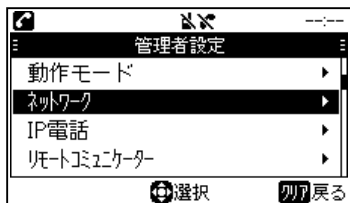
■ 固定IPアドレスを設定するときは

① IPアドレス自動取得をOFFにする

1. [メニュー]を押します。
2. [▲]/[▼]を押して、「管理者設定」を選択し、[決定]を押します。
 - 「管理者設定」を押したときにパスワード入力画面が表示された場合は、現在使用しているパスワードを入力してください。



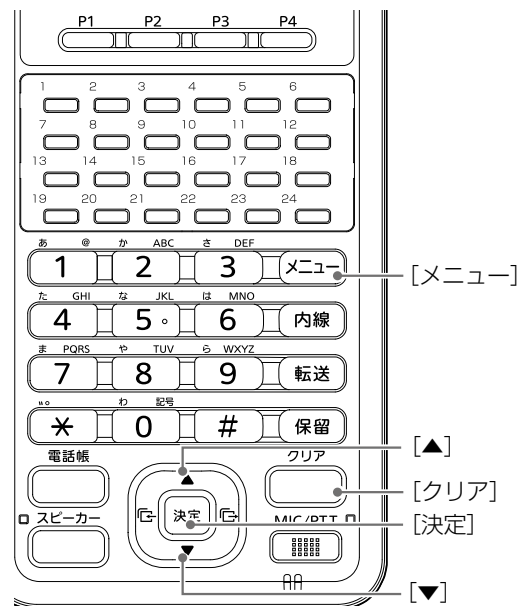
3. 「ネットワーク」を選択し、[決定]を押します。



4. 「IPアドレス自動取得」を選択し、[決定]を押します。



5. 「OFF」を選択し、[決定]を押します。



2 導入ガイド

ネットワーク設定

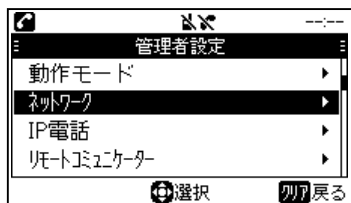
■ 固定IPアドレスを設定するときは

② IPアドレスを設定する

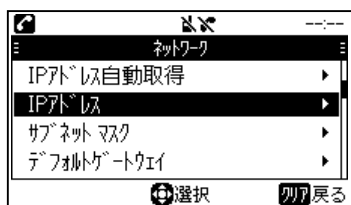
1. [メニュー]を押します。
2. [▲]/[▼]を押して、「管理者設定」を選択し、[決定]を押します。
 - 「管理者設定」を押したときにパスワード入力画面が表示された場合は、現在使用しているパスワードを入力してください。



3. 「ネットワーク」を選択し、[決定]を押します。



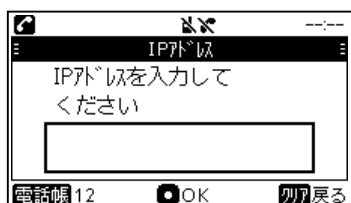
4. 「IPアドレス」を選択し、[決定]を押します。



5. [電話帳]を押して、設定画面を開きます。



6. IPアドレスを入力して、[決定]を押します。
 - [クリア]を押すと1文字削除、長押しするとすべて削除します。
 - [*]を押すと「.」が入力できます。

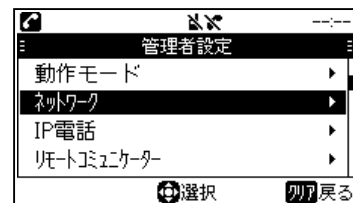


③ サブネットマスクを設定する

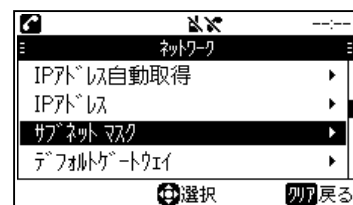
1. [メニュー]を押します。
2. [▲]/[▼]を押して、「管理者設定」を選択し、[決定]を押します。
 - 「管理者設定」を押したときにパスワード入力画面が表示された場合は、現在使用しているパスワードを入力してください。



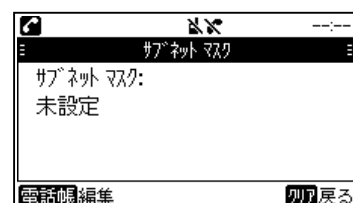
3. 「ネットワーク」を選択し、[決定]を押します。



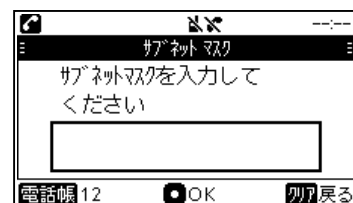
4. 「サブネットマスク」を選択し、[決定]を押します。



5. [電話帳]を押して、設定画面を開きます。



6. サブネットマスクを入力して、[決定]を押します。
 - [クリア]を押すと1文字削除、長押しするとすべて削除します。
 - [*]を押すと「.」が入力できます。



動作モード設定

■ 本製品の動作モードについて

◎ IP電話モード（動作モード表示)

弊社製SIPサーバーに接続して、IP電話機として通話できるモードです。

◎ リモートコミュニケーターモード（動作モード表示)

弊社製コントローラーに収容することで、WLAN無線機と通話できるモードです。

◎ IP電話+リモートコミュニケーターモード

IP電話モードとリモートコミュニケーターモード両方の機能を使用できるモードです。

- 待受画面、または通話中に[決定]を押すことで、優先したいモードに切り替えることができます。
- 優先しているモードによって表示する電話帳と履歴の項目が変わります。

IP電話モード優先（動作モード表示)

[電話帳] : 共通電話帳、個別電話帳

[電話着信履歴] : 電話着信履歴

[電話発信履歴] : 電話発信履歴

リモートコミュニケーターモード優先

（動作モード表示)

[電話帳] : 全体、グループ、個別

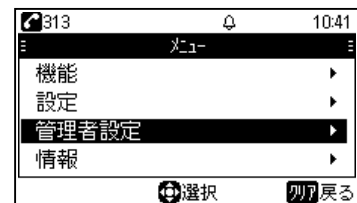
[受信履歴] : 無線受信履歴、メッセージ受信履歴

[送信履歴] : 無線送信履歴、メッセージ送信履歴

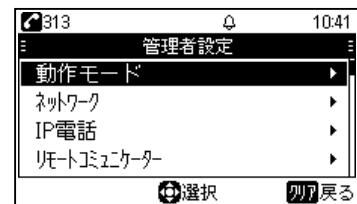
■ 動作モードを変更する

※出荷時の動作モードは、「IP電話+リモートコミュニケーター」です。必要に応じて設定を変更してください。

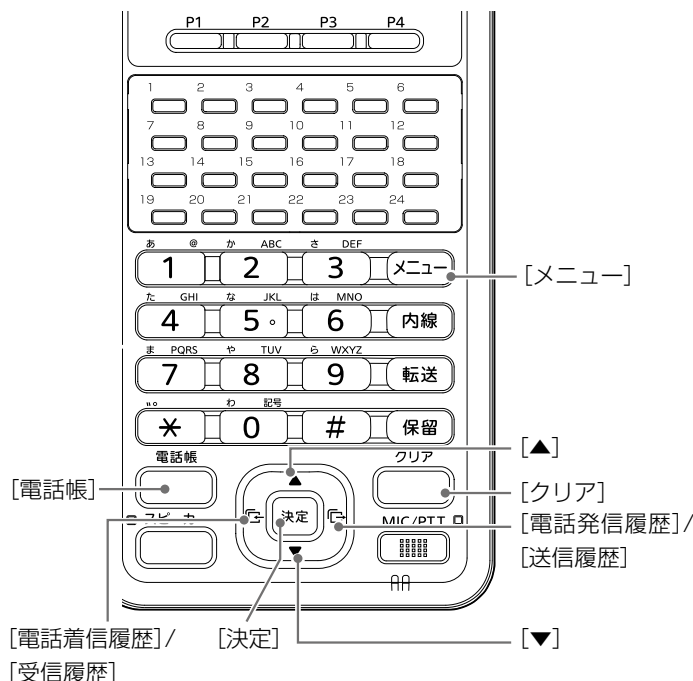
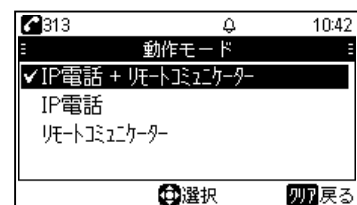
1. [メニュー]を押します。
2. [▲]/[▼]を押して、「管理者設定」を選択し、[決定]を押します。
 - 「管理者設定」を押したときにパスワード入力画面が表示された場合は、現在使用しているパスワードを入力してください。



3. 「動作モード」を選択し、[決定]を押します。



4. 使用したいモードを選択し、[決定]を押します。
 - モードを変更すると、自動で再起動します。



2 導入ガイド

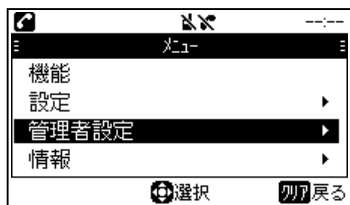
IP電話モード設定

IP電話モードに必要な項目を設定します。

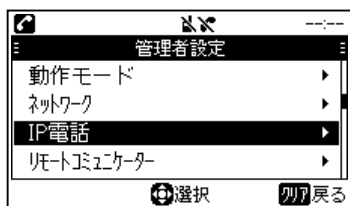
① 保守サーバーを設定する

IP電話モードでSIPサーバーに接続するための設定です。

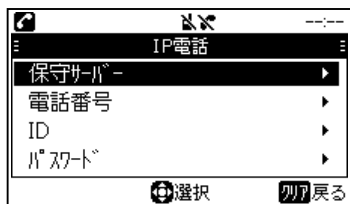
1. [メニュー]を押します。
2. [▲]/[▼]を押して、「管理者設定」を選択し、[決定]を押します。
 - 「管理者設定」を押したときにパスワード入力画面が表示された場合は、現在使用しているパスワードを入力してください。



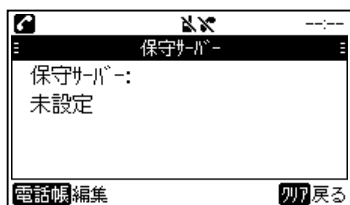
3. 「IP電話」を選択し、[決定]を押します。



4. 「保守サーバー」を選択し、[決定]を押します。

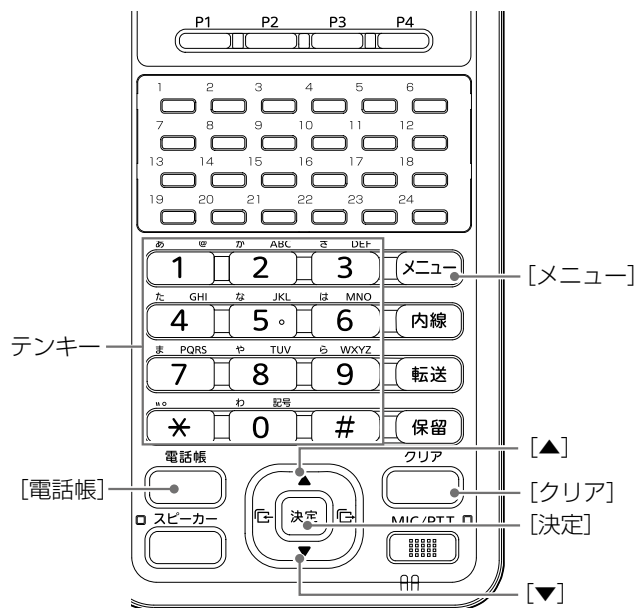
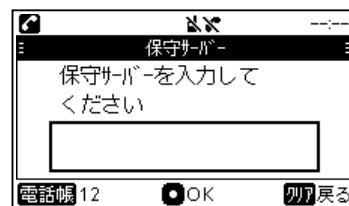


5. [電話帳]を押して、設定画面を開きます。



6. SIPサーバーのIPアドレスを入力し、[決定]を押します。

- [クリア]を押すと1文字削除、長押しするとすべて削除します。
- [*]を押すと「.」が入力できます。



2 導入ガイド

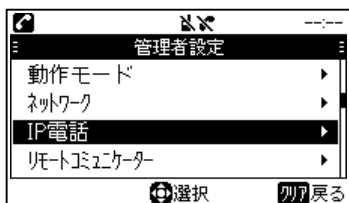
IP電話モード設定

② 電話番号を設定する

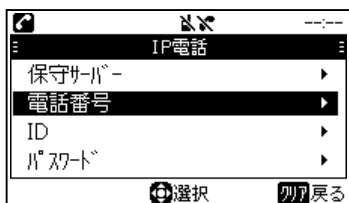
1. [メニュー]を押します。
2. [▲]/[▼]を押して、「管理者設定」を選択し、[決定]を押します。
 - 「管理者設定」を押したときにパスワード入力画面が表示された場合は、現在使用しているパスワードを入力してください。



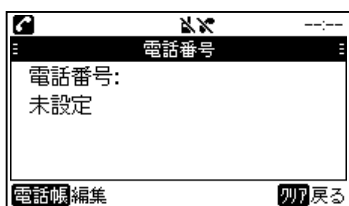
3. 「IP電話」を選択し、[決定]を押します。



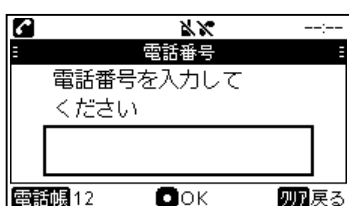
4. 「電話番号」を選択し、[決定]を押します。



5. [電話帳]を押して、設定画面を開きます。



6. SIPサーバーで設定した電話番号(内線番号)を入力し、[決定]を押します。
 - [クリア]を押すと1文字削除、長押しするとすべて削除します。

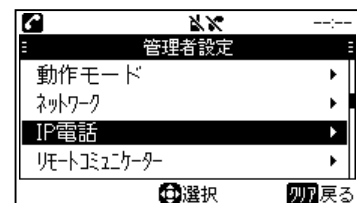


③ IDを設定する

1. [メニュー]を押します。
2. [▲]/[▼]を押して、「管理者設定」を選択し、[決定]を押します。
 - 「管理者設定」を押したときにパスワード入力画面が表示された場合は、現在使用しているパスワードを入力してください。



3. 「IP電話」を選択し、[決定]を押します。



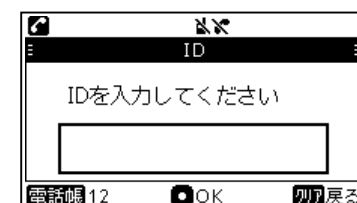
4. 「ID」を選択し、[決定]を押します。



5. [電話帳]を押して、設定画面を開きます。



6. SIPサーバーで設定したID(内線番号)を入力し、[決定]を押します。
 - [クリア]を押すと1文字削除、長押しするとすべて削除します。
 - 文字入力を切り替えるときは、[電話帳]を押します。
 - 最大15桁(P.5-3)

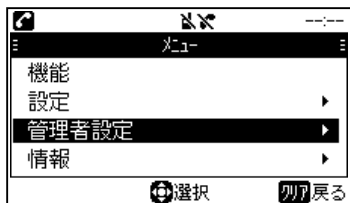


2 導入ガイド

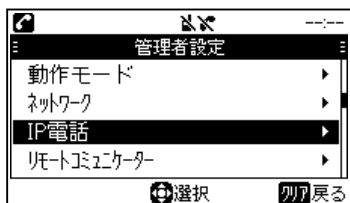
IP電話モード設定

④ パスワードを設定する

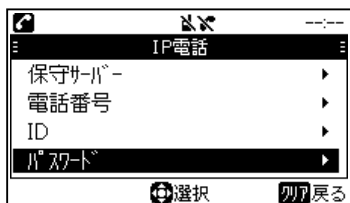
1. [メニュー]を押します。
2. [▲]/[▼]を押して、「管理者設定」を選択し、[決定]を押します。
 - 「管理者設定」を押したときにパスワード入力画面が表示された場合は、現在使用しているパスワードを入力してください。



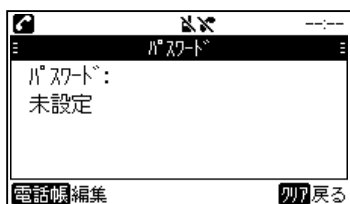
3. 「IP電話」を選択し、[決定]を押します。



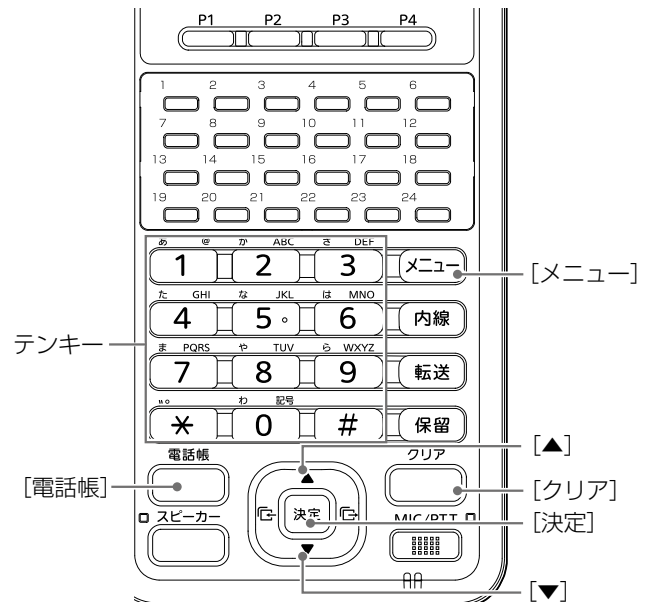
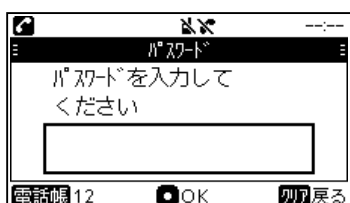
4. 「パスワード」を選択し、[決定]を押します。



5. [電話帳]を押して、設定画面を開きます。



6. SIPサーバーで設定したパスワードを入力し、[決定]を押します。
 - [クリア]を押すと1文字削除、長押しするとすべて削除します。
 - 文字入力を切り替えるときは、[電話帳]を押します。



2 導入ガイド

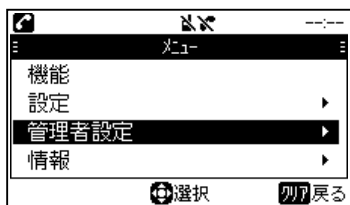
リモートコミュニケーターモード設定

リモートコミュニケーターモードに必要な項目を設定します。

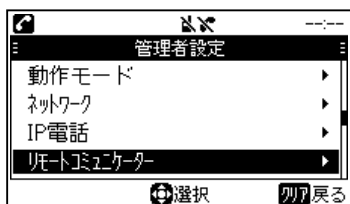
① 保守サーバーを設定する

リモートコミュニケーターモードでコントローラーに接続するための設定です。

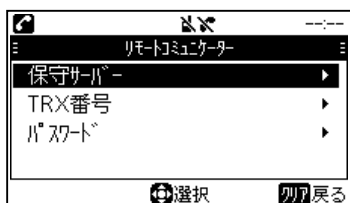
1. [メニュー]を押します。
2. [▲]/[▼]を押して、「管理者設定」を選択し、[決定]を押します。
 - 「管理者設定」を押したときにパスワード入力画面が表示された場合は、現在使用しているパスワードを入力してください。



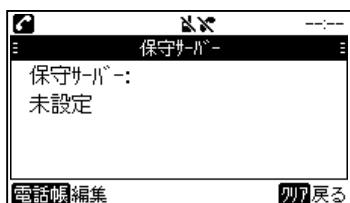
3. 「リモートコミュニケーター」を選択し、[決定]を押します。



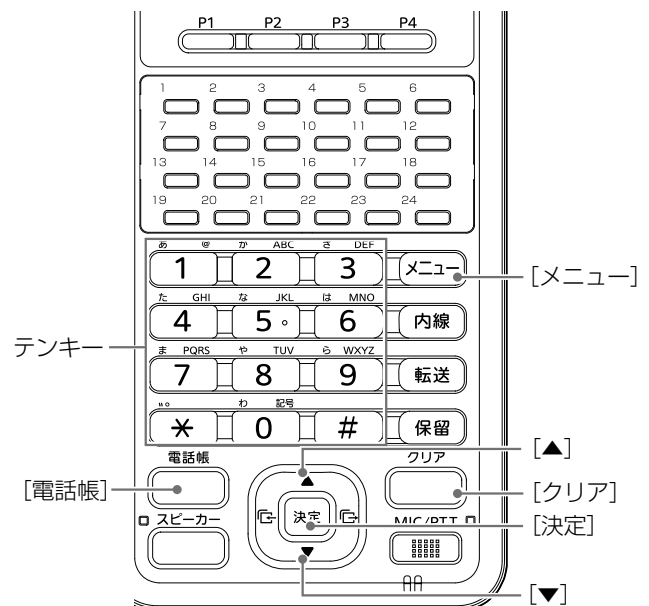
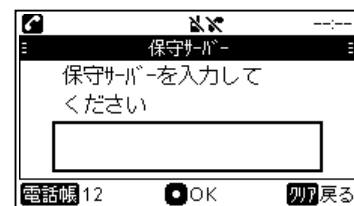
4. 「保守サーバー」を選択し、[決定]を押します。



5. [電話帳]を押して、設定画面を開きます。



6. コントローラーのIPアドレスを入力し、[決定]を押します。
 - [クリア]を押すと1文字削除、長押しするとすべて削除します。
 - [*]を押すと「.」が入力できます。



2 導入ガイド

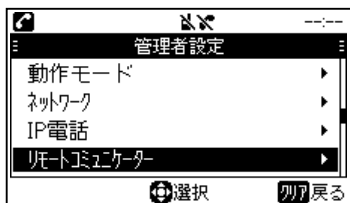
リモートコミュニケーターモード設定

② TRX番号を設定する

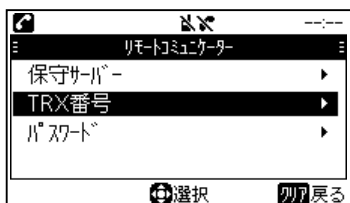
1. [メニュー]を押します。
2. [▲]/[▼]を押して、「管理者設定」を選択し、[決定]を押します。
 - 「管理者設定」を押したときにパスワード入力画面が表示された場合は、現在使用しているパスワードを入力してください。



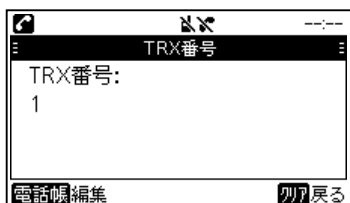
3. 「リモートコミュニケーター」を選択し、[決定]を押します。



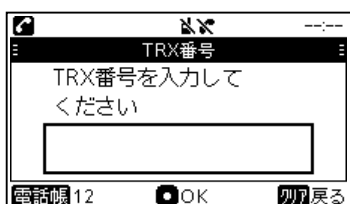
4. 「TRX番号」を選択し、[決定]を押します。



5. [電話帳]を押して、設定画面を開きます。



6. コントローラーで設定したTRX番号を入力し、[決定]を押します。
 - [クリア]を押すと1文字削除、長押しするとすべて削除します。

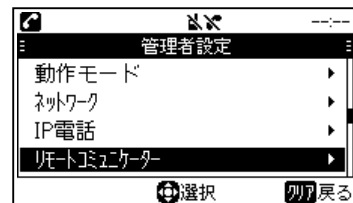


③ パスワードを設定する

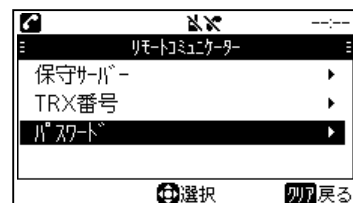
1. [メニュー]を押します。
2. [▲]/[▼]を押して、「管理者設定」を選択し、[決定]を押します。
 - 「管理者設定」を押したときにパスワード入力画面が表示された場合は、現在使用しているパスワードを入力してください。



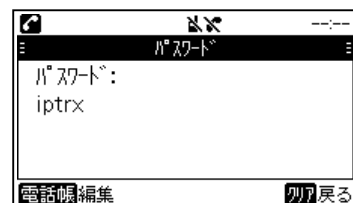
3. 「リモートコミュニケーター」を選択し、[決定]を押します。



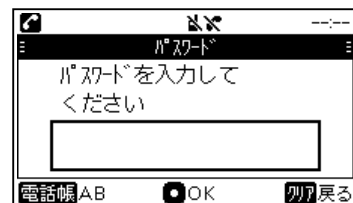
4. 「パスワード」を選択し、[決定]を押します。



5. [電話帳]を押して、設定画面を開きます。



6. コントローラーで設定したパスワードを入力し、[決定]を押します。
 - [クリア]を押すと1文字削除、長押しするとすべて削除します。
 - 文字入力を切り替えるときは、[電話帳]を押します。



電話をかけるには(外線発信).....	3-2
■ 使用する外線を選択して電話をかける	3-2
■ 空いている外線を選択して電話をかける	3-3
■ 受話器を置いた状態で電話をかける	3-4
電話をかけるには(内線発信).....	3-5
■ 内線で電話をかける	3-5
■ 内線を選んで電話をかける	3-6
通話履歴から電話をかけるには.....	3-7
■ 通話履歴から電話をかける	3-7
電話帳から電話をかけるには.....	3-8
着信に応答する.....	3-9
■ 着信に応答する(外線着信)	3-9
■ 着信に応答する(内線着信)	3-9
電話を保留する(自己保留).....	3-10
電話を転送する(応答前転送).....	3-11
電話を転送する(応答後転送).....	3-12
電話を取り次ぐ(パーク保留/応答)	3-13
送受信について.....	3-14
アドレス帳から送信する.....	3-15
履歴から送信する.....	3-16

3 基本操作

電話をかけるには(外線発信)

動作モード：「IP電話」、「IP電話+リモートコミュニケーター」

■使用する外線を選択して電話をかける

使用する外線を指定して発信します。

① 受話器を上げる

「ツーツー」と内線発信音が聞こえます。

※[スピーカー]を押しても操作できます。

② 使用するプログラマブルキー(外線キー)を選択する

消灯している外線キーが割り当てられているプログラマブルキーを押します。

「ツー」と外線発信音が聞こえ、プログラマブルキー(外線キー)が緑色に点灯します。

③ 電話番号を入力する

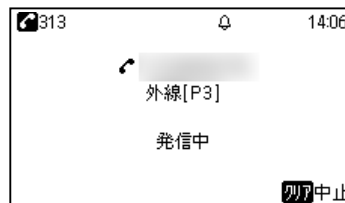
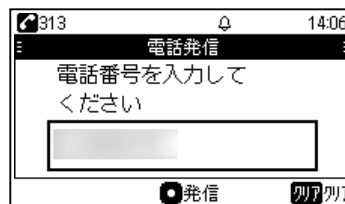
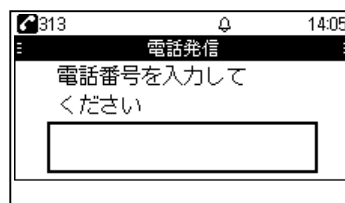
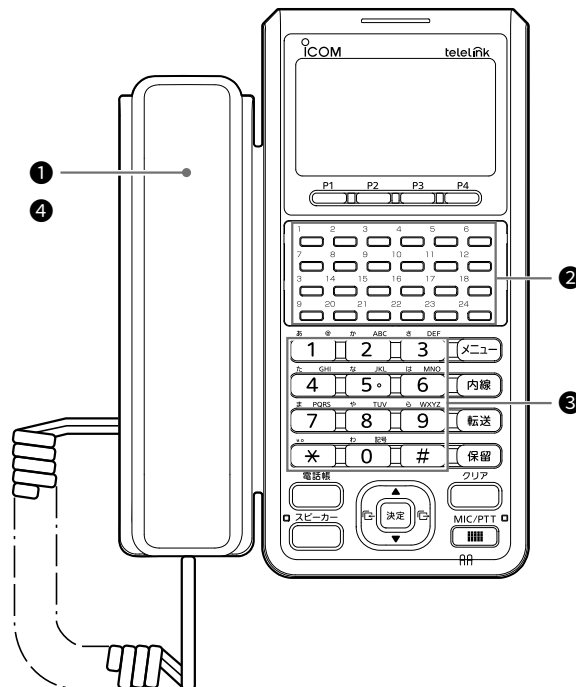
テンキーを押し、電話番号を入力します。

- ・[クリア]を押すと1文字削除、長押しするとすべて削除します。
- ・電話番号入力後、[決定]を押すと、すぐに発信できます。

④ 通話を終了する

受話器を置きます。

※スピーカーフォンの場合は、[スピーカー]を押しても操作できます。



ご参考

◎外線キーが割り当てられているプログラマブルキーが赤色点灯しているときは、ほかの電話機が外線を使用しています。

使用していないプログラマブルキー(外線キー)を押すか、しばらくしてからかけなおしてください。

◎受話器を上げて「ツー」と聞こえるときは、オフフック回線捕捉が「外線」になっていますので、プログラマブルキー(外線)を押す必要はありません。

◎受話器で通話中に[スピーカー]を押すと、スピーカーフォンに切り替わります。
通話を終了するには、受話器を置いた状態で、[スピーカー]を押してください。

◎スピーカーフォンの通話から、受話器の通話に変更するときは、受話器を上げてください。すでに受話器を上げている場合は、[スピーカー]を押してください。

3 基本操作

電話をかけるには(外線発信)

動作モード：「IP電話」、「IP電話+リモートコミュニケーター」

■ 空いている外線を選択して電話をかける

電話番号を入力すると、空いている外線が自動的に選択されて発信します。

① 受話器を上げる

「ツーツー」と内線発信音が聞こえます。

※[スピーカー]を押しても操作できます。

② 外線発信キー(設定例：0)を押す

「ツー」と外線発信音が聞こえ、外線キーが割り当てられているプログラブルキーが緑色に点灯します。

③ 電話番号を入力する

テンキーを押し、電話番号を入力します。

- [クリア]を押すと1文字削除、長押しするとすべて削除します。
- 電話番号入力後、[決定]を押すと、すぐに発信できます。

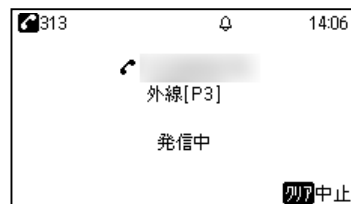
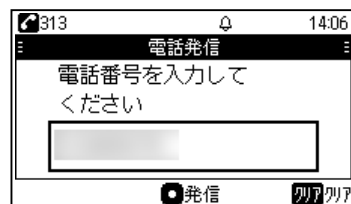
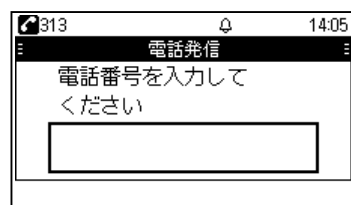
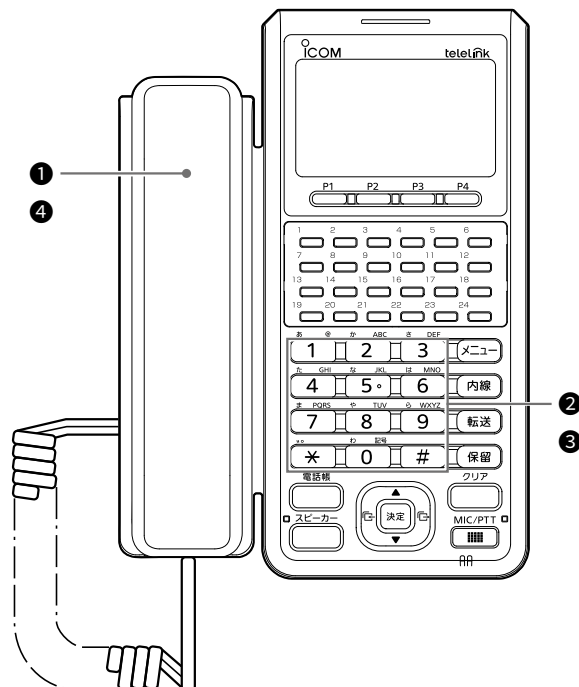
④ 通話を終了する

受話器を置きます。

※スピーカーフォンの場合は、[スピーカー]を押しても操作できます。

ご参考

- ◎使用できる外線がないときは、しばらくしてからかけなおしてください。
- ◎受話器を上げて「ツー」と聞こえるときは、オフフック回線捕捉が「外線」になっていますので、外線発信キーを押す必要はありません。



3 基本操作

電話をかけるには(外線発信)

動作モード：「IP電話」、「IP電話+リモートコミュニケーター」

■ 受話器を置いた状態で電話をかける

受話器を置いた状態でも、発信できます。

① 消灯しているプログラマブルキー(外線)を押す

外線キーが割り当てられているプログラマブルキーを押します。

「ツーン」と外線発信音が聞こえ、プログラマブルキー(外線キー)が緑色に点灯します。

② 電話番号を入力する

テンキーを押し、電話番号を入力します。

- ・[クリア]を押すと1文字削除、長押しするとすべて削除します。
- ・電話番号入力後、[決定]を押すと、すぐに発信できます。

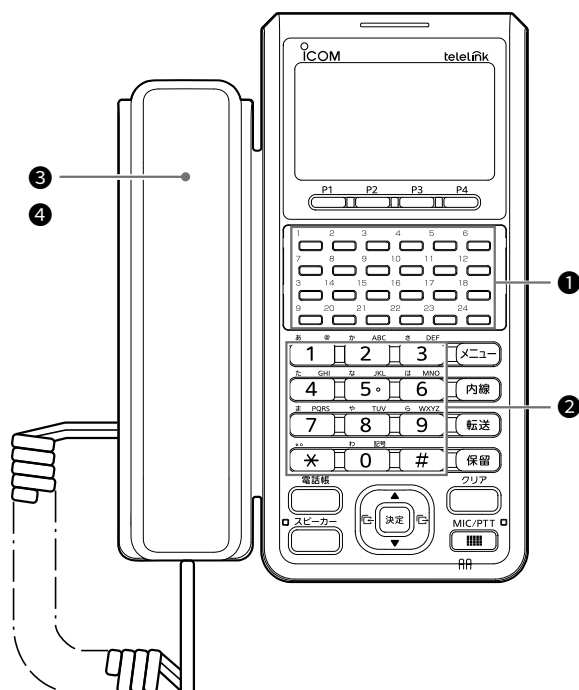
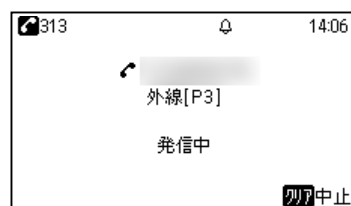
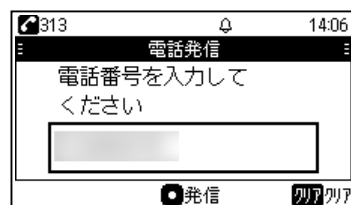
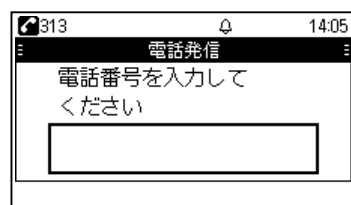
③ 相手の声が聞こえたら、受話器を上げる

受話器を上げずにスピーカフォンでも通話できます。

④ 通話を終了する

受話器を置きます。

※スピーカフォンの場合は、[スピーカー]を押しても操作できません。



3 基本操作

電話をかけるには(内線発信)

動作モード：「IP電話」、「IP電話+リモートコミュニケーター」

■内線で電話をかける

ほかの電話機に内線で発信します。

① 受話器を上げる

「ツーツー」と内線発信音が聞こえます。

※[スピーカー]を押しても操作できます。

② 電話番号を入力する

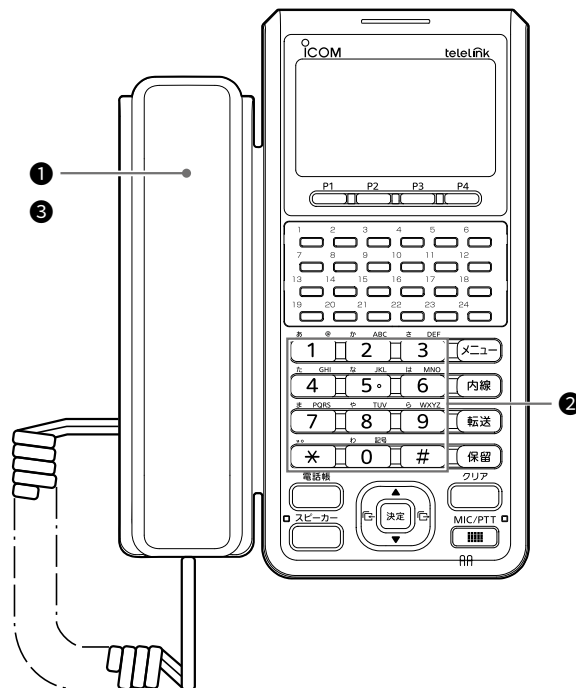
テンキーを押し、電話番号を入力します。

- [クリア]を押すと1文字削除、長押しするとすべて削除します。
- 電話番号入力後、[決定]を押すと、すぐに発信できます。

③ 通話を終了する

受話器を置きます。

※スピーカーフォンの場合は、[スピーカー]を押しても操作できます。

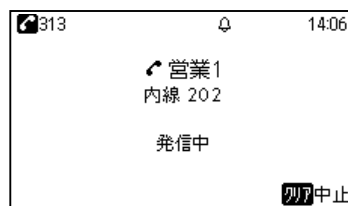
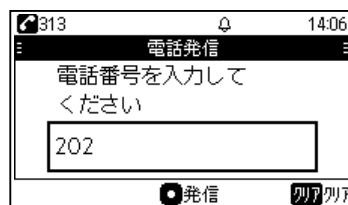
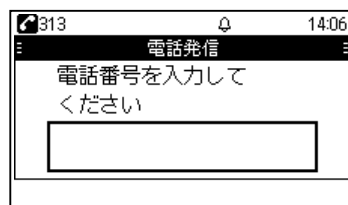


ご参考

◎受話器を上げて「ツー」と聞こえるときは、オフフック回線捕捉が「外線」になっていますので、[内線]を押してから電話番号を入力します。

◎内線で通話中に外線で電話がかかってきたとき、通話中の相手を待たせる場合は、プログラマブルキー(パーク)、または[保留]を押して、パーク保留にします。赤色に高速点滅するプログラマブルキー(外線キー)を押して、外線着信に応答します。

※[保留]が使用できるのは、サーバー側でプログラマブルキーにパークが割り当てられているときだけです。



3 基本操作

電話をかけるには(内線発信)

動作モード：「IP電話」、「IP電話+リモートコミュニケーター」

■ 内線を選んで電話をかける

① [内線]を押す

「ツーツー」と内線発信音が聞こえます。

② 電話番号を入力する

テンキーを押し、電話番号を入力します。

- ・[クリア]を押すと1文字削除、長押しするとすべて削除します。

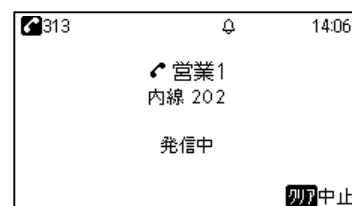
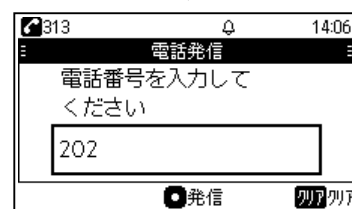
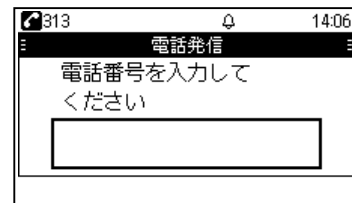
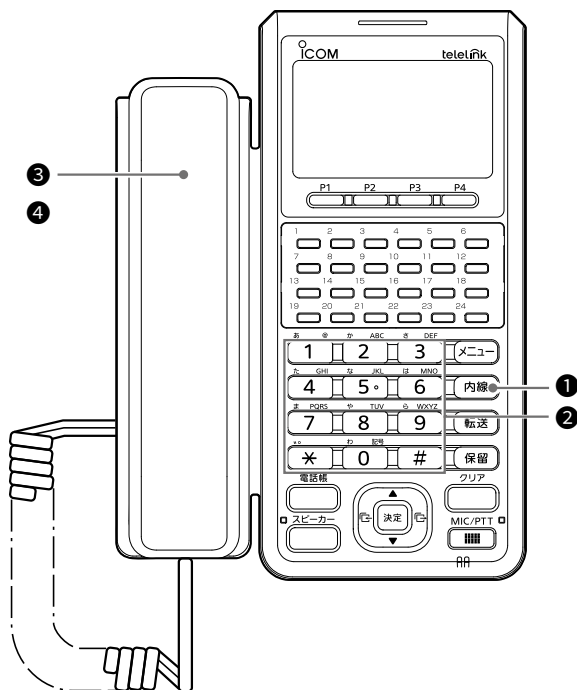
③ 受話器を上げる

※[スピーカー]、または[決定]を押しても操作できます。

④ 通話を終了する

受話器を置きます。

※スピーカフォンの場合は、[スピーカー]を押しても操作できます。



3 基本操作

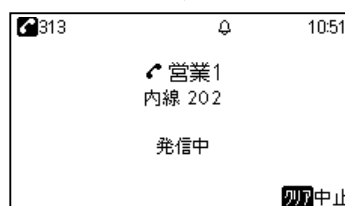
通話履歴から電話をかけるには

動作モード：「IP電話」、「IP電話+リモートコミュニケーター」

■ 通話履歴から電話をかける

① 電話着信/電話発信履歴を開く(例：電話発信履歴)

1. [電話発信履歴]/[▶]を押します。
※電話着信履歴から通話相手を選択する場合は、
[電話着信履歴]/[◀]を押します。
※動作モード表示が 、または の場合は、
「電話発信履歴」、「電話着信履歴」は表示されません。
2. [▲]/[▼]を押して、相手先(例：営業1)を選択します。



② 電話をかける

通話する相手を選択した状態で、受話器を上げます。

※[スピーカー]を押しても操作できます。

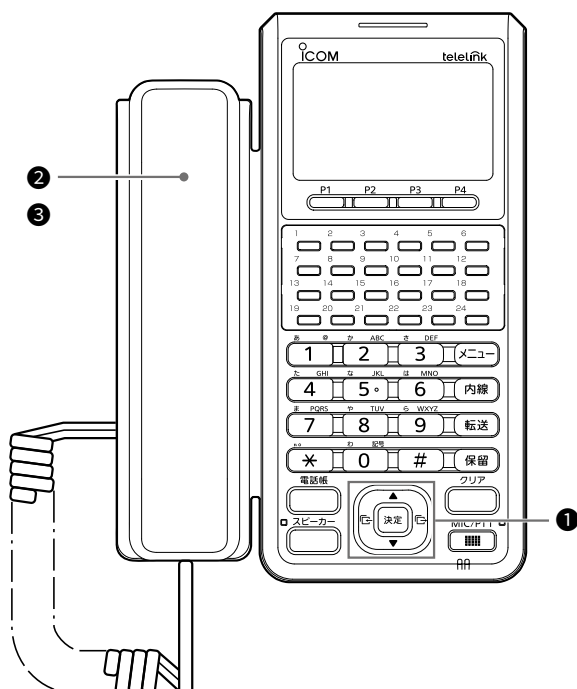
③ 通話を終了する

受話器を置きます。

※スピーカーフォンの場合は、[スピーカー]を押しても操作できます。

履歴について

電話着信履歴、電話発信履歴は50件まで記憶され、50件を超えると、古い履歴から自動的に消去されます。



3 基本操作

電話帳から電話をかけるには

動作モード：「IP電話」、「IP電話+リモートコミュニケーター」

本製品で使用する共通電話帳は、サーバー側で設定が必要です。

個別電話帳の設定方法は、6-3 ページをご覧ください。

① 電話帳を開く

1. [電話帳]を押します。
2. [▲]/[▼]を押して、「共通電話帳」、または「個別電話帳」を選択し、[決定]を押します。
※動作モード表示が 、または  の場合は、「共通電話帳」、「個別電話帳」は表示されません。

② 電話をかける

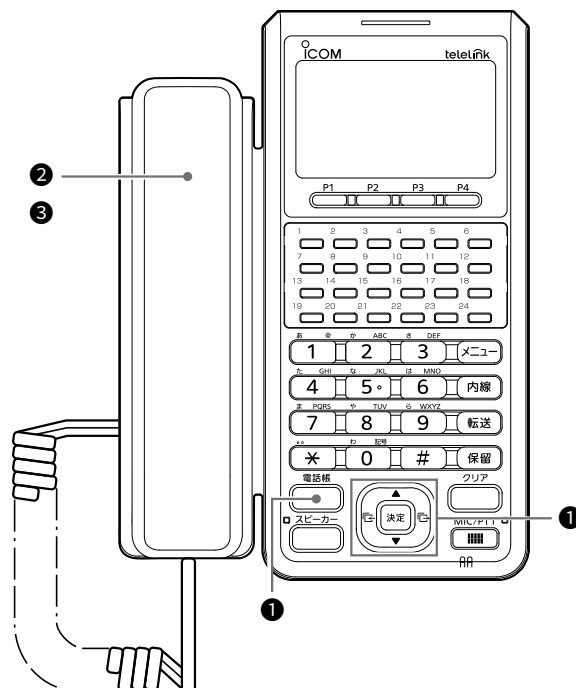
通話する相手を選択した状態で、受話器を上げて、[決定]を押します。

※[スピーカー]を押しても操作できます。

③ 通話を終了する

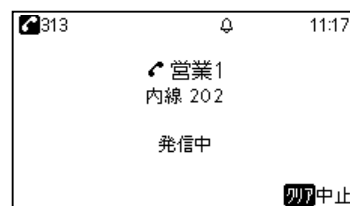
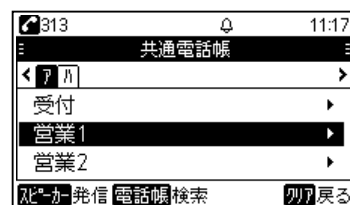
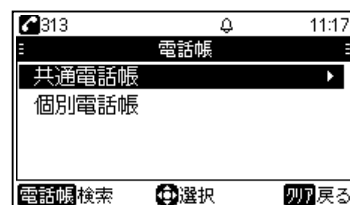
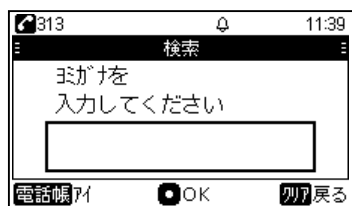
受話器を置きます。

※スピーカーフォンの場合は、[スピーカー]を押しても操作できます。



ご参考

通話する相手を検索した場合は、手順1で[電話帳]を押したあとに、もう一度[電話帳]を押すと、ヨミガナで検索できます。



3 基本操作

着信に応答する

動作モード：「IP電話」、「IP電話+リモートコミュニケーター」

■ 着信に応答する(外線着信)

① 着信に応答する

受話器を上げて着信に応答します。

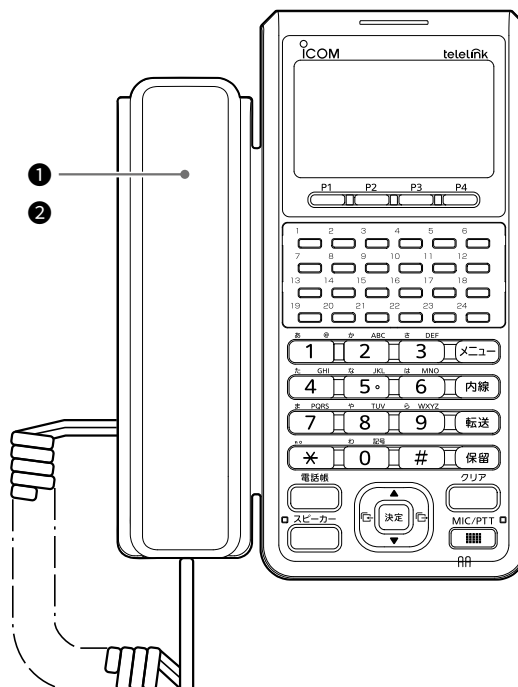
※[スピーカー]、[決定]、または外線が割り当てられているプログラマブルキーを押しても操作できます。

※サーバー側の設定によっては、受話器を上げて応答できないことがあります。

② 通話を終了する

受話器を置きます。

※スピーカーフォンの場合は、[スピーカー]を押しても操作できます。



■ 着信に応答する(内線着信)

① 着信に応答する

受話器を上げて着信に応答します。

※[スピーカー]、[決定]、または[内線]を押しても操作できます。

② 通話を終了する

受話器を置きます。

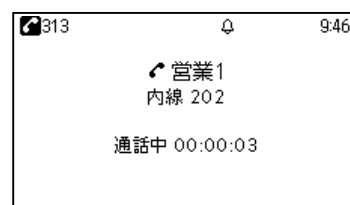
※スピーカーフォンの場合は、[スピーカー]を押しても操作できます。

不在着信について

着信に応答できなかった場合は、待受画面に「着信あり」が表示されます。

待受画面の「着信あり」表示は、電話着信履歴を確認すると消えます。

※不在着信表示が「OFF」のときは、表示されません。(P.5-3)



不在着信表示



ご参考

複数の外線や内線が着信している状態のときは、先にプログラマブルキー(外線キー)や[内線]を押してから受話器を上げてください。

※複数着信しているときは、ディスプレイに表示されているキー番号をご確認ください。

3 基本操作

電話を保留する(自己保留)

動作モード：「IP電話」、「IP電話+リモートコミュニケーター」

しばらく待ってもらうときには、自己保留にします。

通話相手には保留音が流れます。

※サーバー側で設定されているときに、使用できます。

① 保留にする

通話画面で自己保留が割り当てられているプログラマブルキー、またはソフトキーを押して、保留にします。

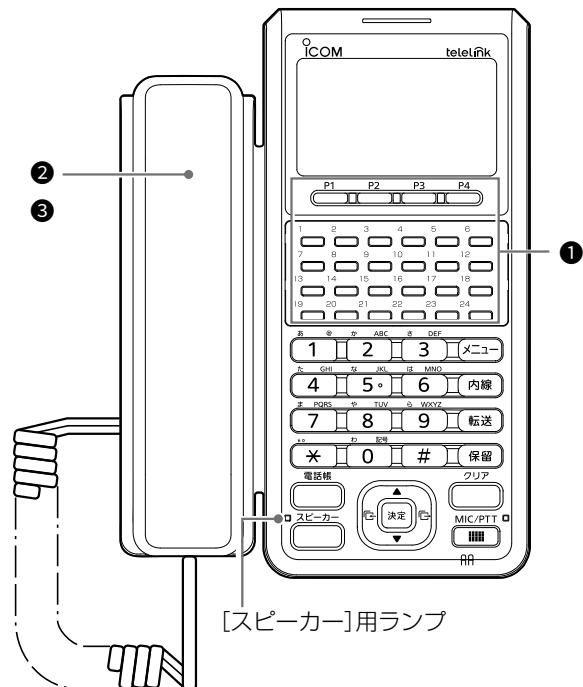
- スピーカーランプが点灯します。

② 受話器を置く

③ 保留を解除する

受話器を上げると、保留が解除されます。

※[スピーカー]、プログラマブルキー、またはソフトキー(自己保留)を押しても操作できます。



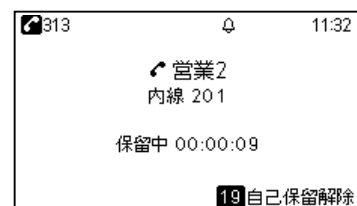
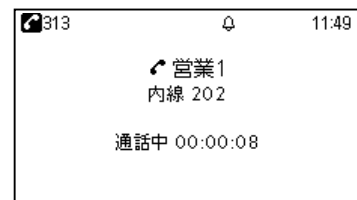
ご参考

◎ 手順1でプログラマブルキー(自己保留)を押さずに、[保留]を押したときは、ほかの電話機で応答できる「パーク保留」になり、プログラマブルキー(パーク)が緑色低速点滅します。

保留を解除するときは、緑色低速点滅しているプログラマブルキー(パーク)を押してください。

※外線で通話中のときは、外線保留になり。プログラマブルキー(外線キー)が緑色低速点滅します。

◎ プログラマブルキー(自己保留)を押して受話器を置かなかったときは、プログラマブルキー(自己保留)を押すと、保留を解除できます。



3 基本操作

電話を転送する(応答前転送)

動作モード：「IP電話」、「IP電話+リモートコミュニケーター」

① 通話中に転送保留する(転送元)

通話画面で[転送]を押して、転送保留にします。

※通話中の相手には保留音が流れます。

② 転送先の電話番号を入力する(転送元)

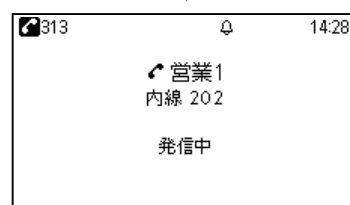
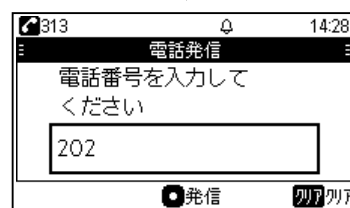
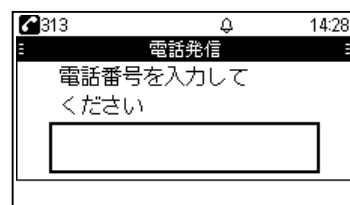
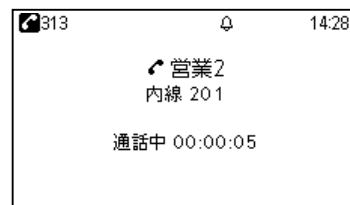
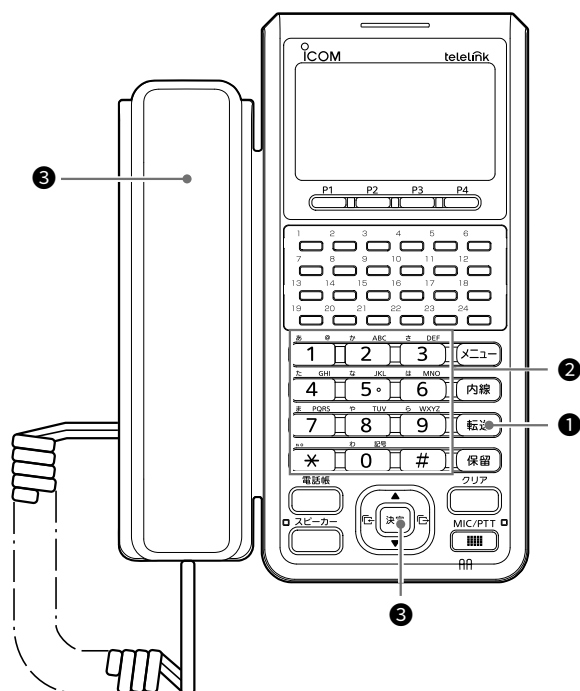
転送画面でテンキーを押し、電話番号を入力します。

※[転送]を押すと、元の通話に戻ります。

③ 呼び出し中に終話する(転送元)

[スピーカー]、または[決定]を押して、呼び出し音を確認後、受話器を置きます。

※転送先は、保留中の相手から直接呼び出されている状態になります。



3 基本操作

電話を転送する(応答後転送)

動作モード：「IP電話」、「IP電話+リモートコミュニケーター」

① 通話中に転送保留する(転送元)

通話画面で[転送]を押して、転送保留にします。

※通話中の相手には保留音が流れます。

② 転送先の電話番号を入力する(転送元)

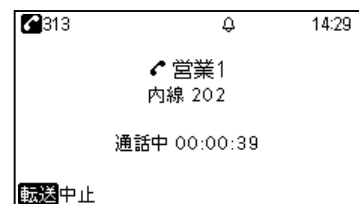
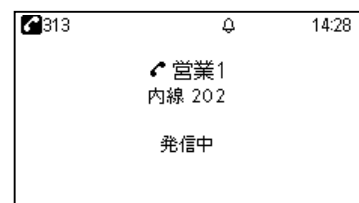
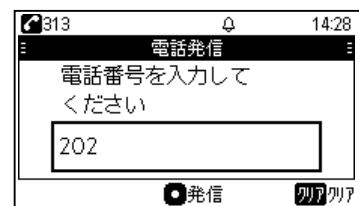
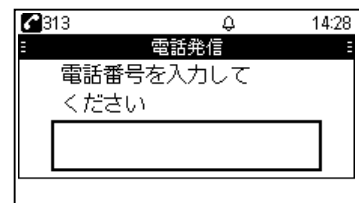
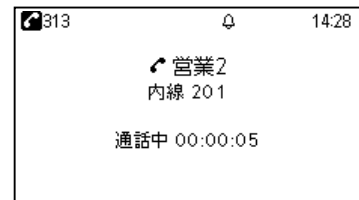
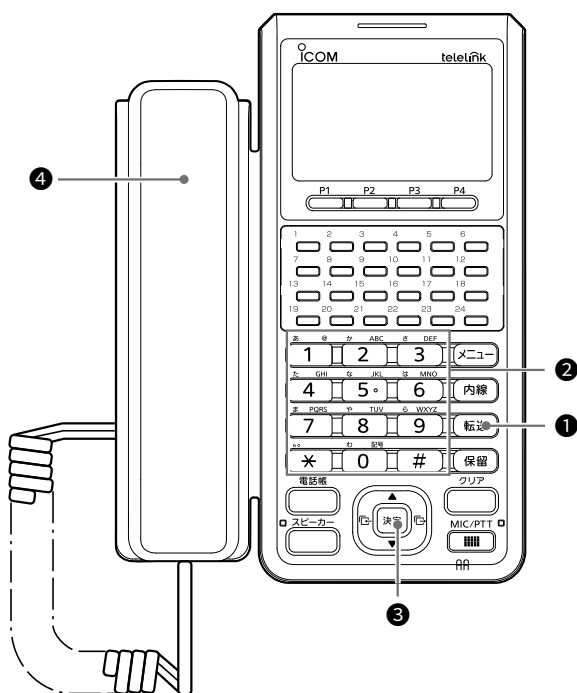
転送画面でテンキーを押して、電話番号を入力します。

※[転送]を押すと、元の通話に戻ります。

③ 転送先の応答を確認し、終話する(転送元)

[スピーカー]、または[決定]を押して、転送先を呼び出して応答を確認後、受話器を置きます。

※保留中の相手と転送先が通話を開始します。



3 基本操作

電話を取り次ぐ(パーク保留/応答)

動作モード：「IP電話」、「IP電話+リモートコミュニケーター」

① 通話中に消灯してる[パーク]を押す(転送元)

消灯しているパークが割り当てられているプログラマブルキーを押して、パーク保留にします。

- プログラマブルキー(パーク)が緑色低速点滅し、相手には保留音が流れます。

[外線で通話中の場合]

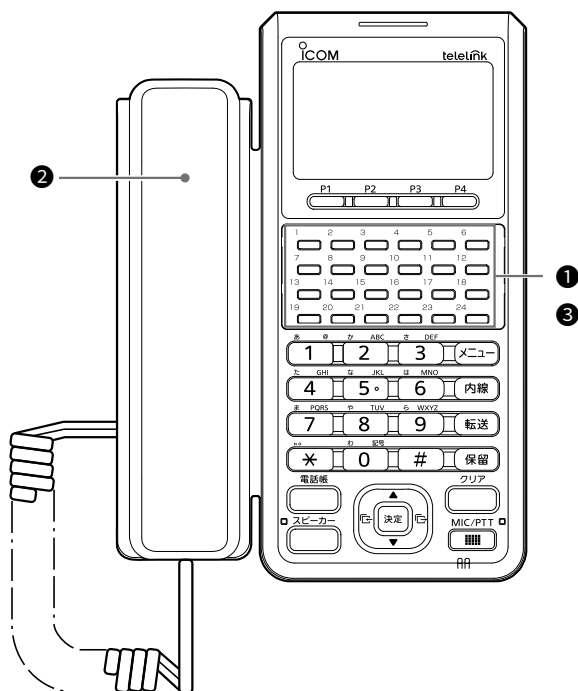
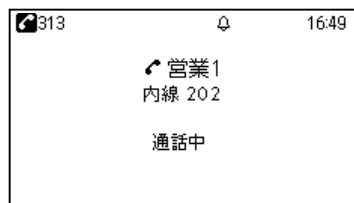
緑色点灯しているプログラマブルキー(外線キー)を押しても同様に保留できます。

② 受話器を置く(転送元)

③ パーク番号を押して応答する(転送先)

赤色低速点滅しているプログラマブルキー(パーク)を押して、応答します。

※転送元がパーク保留した電話にもう一度応答するときは、緑色点滅しているプログラマブルキー(パーク)を押します。



3 基本操作

送受信について

動作モード：「リモートコミュニケーター」、「IP電話+リモートコミュニケーター」

① 呼び出しをする(送信する)

[MIC/PTT]を押しながら、スピーカーフォン用マイクに向かって呼びかけます。

- ・[MIC/PTT]を押しているあいだ、着信ランプと[MIC/PTT]用ランプが赤色に点灯します。

② 呼び出しを受ける(受信する)

信号を受信すると、着信ランプが緑色、[スピーカー]用ランプが黄色に点灯します。

③ 通話をつづける

相手が送信しているときでも、[MIC/PTT]を押しながら、電話のように同時通話できます。

- ・送受信状態(複信通話時)のときは、着信ランプが橙色に点灯します。
- ※送信の終わりに「どうぞ」を付け加えると、互いの会話がスムーズになります。
- ※通話相手の音声がかすまないように、音量を調整することをおすすめします。
- ※スピーカーやスピーカーフォン用マイクに手をかざしたり、ふさいだりすると、十分な性能を発揮できませんので、ご注意ください。

連続送信について

[MIC/PTT]が押しつづけられる場合など、不用意な送信を防止するために、タイマーが設定されています。

連続送信が設定された時間★を超えると、自動的に送信を停止しますので、通話を再開するには再度[MIC/PTT]★を押してください。

★サーバー側の設定に依存します。

通知音について

サーバー側の設定により、受信を音で確認できます。

交互通話(単信通話)の場合

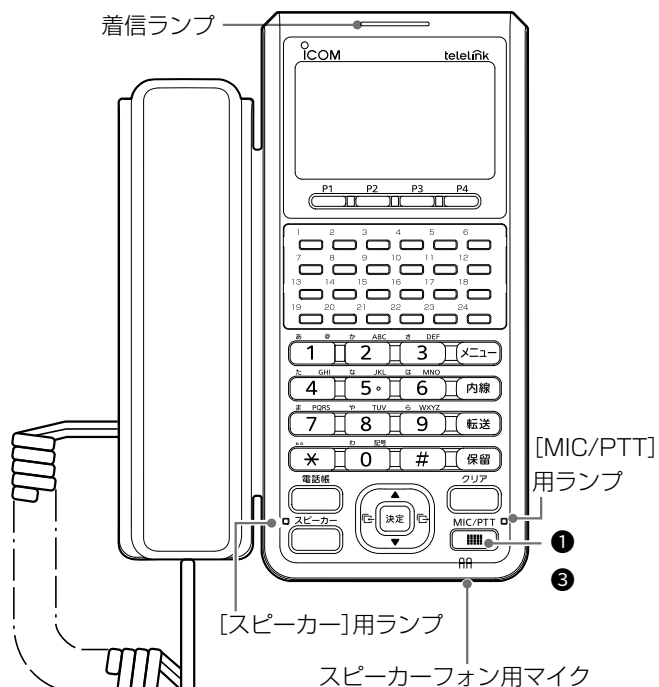
サーバー側で単信通話が設定されている場合は、送信と受信を交互に切り替えて通話します。

※相手の通話が終了してから、送信してください。

スピーカーフォン用マイクの使いかた

スピーカーフォン用マイクに向かって話すときは、普通の大きさの声で通話してください。

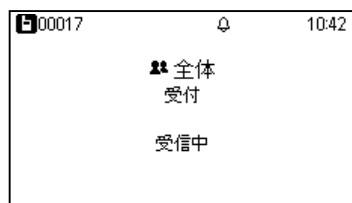
スピーカーフォン用マイクに近づきすぎたり、大きな声を出したりすると、かえって相手に聞こえにくくなりますのでご注意ください。



全体呼び出し選択時



全体呼び出し受信時



ご注意

本製品の通話音が最大近くに設定され、騒音環境や本製品同士を近づけていた状態で同時通話をする、相手に周期的な残響ノイズが聞こえることがあります。このようなときは、音量を小さくすると、現象が発生しにくくなります。

3 基本操作

アドレス帳から送信する

動作モード：「リモートコミュニケーター」、「IP電話+リモートコミュニケーター」

本製品で使用するアドレス帳は、サーバー側で設定が必要です。

① アドレス帳から相手先を選択する(例：グループ)

1. [電話帳]を押します。
※動作モード表示が 、または  の場合は、アドレス帳は表示されません
2. [▲]/[▼]を押して、「グループ」を選択し、[決定]を押します。
※トークグループを使用する場合は、4-6ページをご覧ください。
3. 相手先(例：営業グループ2)を選択し、[決定]を押します。
・待受画面に、選択されている相手先が表示されます。

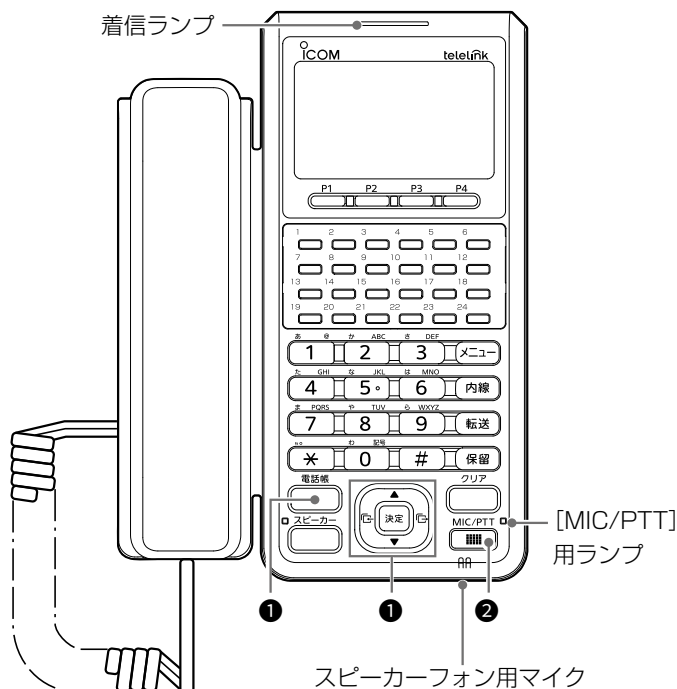
② [MIC/PTT]を押す

[MIC/PTT]を押しながら、スピーカーフォン用マイクに向かって呼びかけます。

- ・[MIC/PTT]を押しているあいだ、着信ランプと[MIC/PTT]用ランプが赤色に点灯します。



グループ呼び出し選択時



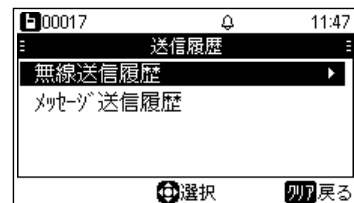
3 基本操作

履歴から送信する

動作モード：「リモートコミュニケーター」、「IP電話+リモートコミュニケーター」

① 送信履歴から通話相手を選択する

1. [送信履歴]を押します。
※受信履歴から通話相手を選択する場合は、[受信履歴]を押します。
※動作モード表示が 、または の場合は、「送信履歴」、「受信履歴」は表示されません。
2. [▲]/[▼]を押して、「無線送信履歴」を選択し、[決定]を押します。
3. 相手先(例：営業1)を選択し、[決定]を押します。
4. 詳細画面で[決定]を押します。



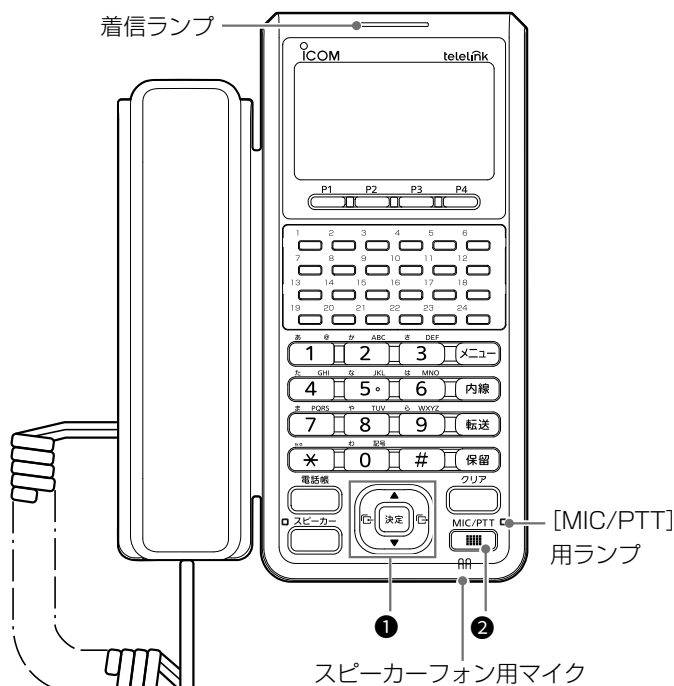
② [MIC/PTT]を押す

[MIC/PTT]を押しながら、スピーカーフォン用マイクに向かって呼びかけます。

- [MIC/PTT]を押しているあいだ、着信ランプと[MIC/PTT]用ランプが赤色に点灯します。

履歴について

無線送信、受信履歴は50件、メッセージ送信、受信履歴は10件まで記憶され、それぞれの件数を超えると、古い履歴から自動的に消去されます。



個別呼び出し選択時



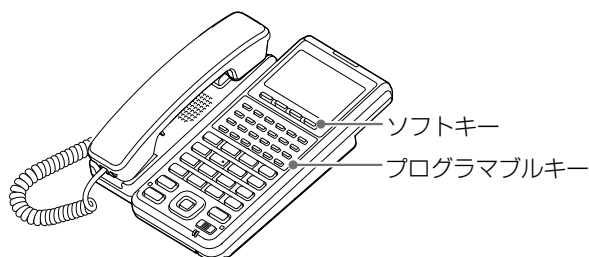
ソフトキー/プログラマブルキーについて	4-2
■ ソフトキー (IP 電話モード)	4-2
■ ソフトキー (リモートコミュニケーターモード)	4-2
■ プログラマブルキー (IP 電話モード)	4-3
■ プログラマブルキー (リモートコミュニケーターモード)	4-4
トークグループ呼び出しについて	4-5
トークグループを選択するときは	4-6
■ トークグループをメニューから選択する	4-6
■ トークグループをアドレス帳から選択する	4-7
メッセージを送信するときは	4-8
受信したメッセージを確認するときは	4-9
プレゼンスを送信するときは	4-10
ポケットビープ/Pベル機能について	4-11
■ ポケットビープ機能について	4-11
■ Pベル機能について	4-11
テンキー呼出について	4-12
緊急呼び出しを受けるときは	4-13
履歴をすべて消去するときは	4-14
ヘッドセットを使用するときは (IP 電話モード)	4-15
■ ヘッドセットを使用して発信する	4-15
■ ヘッドセットを使用して着信に応答する	4-16
ヘッドセットを使用するときは (リモートコミュニケーターモード)	4-17
■ ヘッドセットを使用して送受信する	4-17
ハイブリッド受信時の操作	4-18
■ 同時受信時の画面について	4-18

4 応用操作

ソフトキー/プログラマブルキーについて

よく使う機能をワンタッチで選択するときなどに使用するキーです。同じキー番号にIP電話モード、リモートコミュニケーターモードそれぞれの設定を割り当てることができますが、動作モードが「IP電話+リモートコミュニケーターモード」の場合は、IP電話モードの設定が優先されます。

※サーバー側で設定されている場合に使用できます。



■ソフトキー(IP電話モード)

キー割当	キー表示	特番(初期値)	説明
自己保留		×	通話中の相手を待たせるときに使用します。 ※ほかの電話機から通話できません。 ほかの電話機から通話したいときは、パーク保留、または外線保留をしてください。(P.3-10)
音声呼出		*83	ダイヤルした相手先を着信させず、音声で直接呼び出す機能です。 キーを押してダイヤルすると、呼び出し先の電話機のスピーカー機能が有効になります。 ※KXシリーズ、IP200H、IP210H、VP-2100以外の電話機には音声呼び出しできません。
留守電の再生		*84	留守番電話操作メニュー(メインメニュー)にログインする機能です。 ※ログインした状態で、電話機から聞こえるメッセージにしたがって操作すると、録音内容の再生や各種設定ができます。
コールピックアップ		*81	ほかの電話機に着信に、代理応答する機能です。 ※コールピックアップ対象は、サーバー側で設定します。
グループピックアップ		**	同じピックアップグループに所属するほかの電話機に着信に、代理応答する機能です。 ※グループピックアップ対象は、サーバー側で設定します。
リダイヤル		×	最後にかけた電話番号に発信します。

■ソフトキー(リモートコミュニケーターモード)

キー割当	キー表示	説明
メッセージ		よく使うメッセージを送信する機能です。 キーを押すと、設定されたメッセージを表示します。(P.4-8)
ワンタッチ	 	特定の呼出種別、または相手を選択する機能です。
受信音声ミュート		受信時に、音声をミュートする機能です。 キーを長押しすることにより、受信音声ミュート機能のON/OFFを切り替えます。

4 応用操作

ソフトキー/プログラマブルキーについて

■ プログラマブルキー(IP電話モード)

キー割当	特番(初期値)	説明
ワンタッチ	×	サーバー側で設定した電話番号をワンタッチで入力する機能です。
外線キー	*92(応答)	外線発信時に使用する回線の電話番号、または回線グループの選択、外線着信の応答、外線を保留/応答する機能です。
パーク	*90(保留) *91(応答)	通話をパーク保留して、どの電話機からでも応答できる機能です。(P.3-13)
留守電開始/停止	*99	留守電の開始、または停止をする機能です。 押すごとに、留守番電話を開始、または停止を切り替えます。 ※開始すると、プログラマブルキーが橙色に点灯します。
着信おまたせ開始/停止	*86	外線着信時、設定時間内に応答できないときに、メッセージを流して相手に待ってもらう機能です。 押すごとに、着信おまたせを開始、または停止を切り替えます。 ※開始すると、プログラマブルキーが橙色に点灯します。
不在転送切替	*94	不在中にかかってきた電話をほかの電話機に転送する機能です。 押すごとに、不在転送切替を設定、または解除を切り替えます。 ※転送先は、サーバー側で設定します。 ※設定すると、プログラマブルキーが橙色に点灯します。
不応答転送切替	*95	着信中に設定した時間内に応答できなかったときに、ほかの電話機に転送する機能です。 押すごとに、不応答転送切替を設定、または解除を切り替えます。 ※転送先は、サーバー側で設定します。 ※設定すると、プログラマブルキーが橙色に点灯します。
話中転送切替	*96	通話中に内線着信したときに、ほかの電話機に転送する機能です。 押すごとに、話中転送切替を設定、または解除を切り替えます。 ※転送先は、サーバー側で設定します。 ※設定すると、プログラマブルキーが橙色に点灯します。
昼夜切替	*98	あらかじめ登録した外線サービスグループごとに、昼間か夜間で、着信したときの動作を切り替える機能です。 押すごとに、昼夜切替を「昼」、「夜」に切り替えます。 ※「夜」に設定すると、プログラマブルキーが橙色に点灯します。
外線着信転送切替	*97	外線着信をほかの外線へ転送する機能です。 押すごとに、外線着信転送切替を設定、または解除を切り替えます。 ※転送先は、サーバー側で設定します。 ※設定すると、プログラマブルキーが橙色に点灯します。
留守電の再生	*84	留守番電話操作メニュー(メインメニュー)にログインする機能です。 ※ログインした状態で、電話機から聞こえるメッセージにしたがって操作すると、録音内容の再生や各種設定ができます。

4 応用操作

ソフトキー/プログラマブルキーについて

■プログラマブルキー(IP電話モード)

キー割当	特番(初期値)	説明
コールピックアップ	*81	ほかの電話機の着信に、代理応答する機能です。 ※コールピックアップ対象はサーバー側で設定します。
グループピックアップ	**	同じピックアップグループに所属するほかの電話機の着信に、代理応答する機能です。 ※グループピックアップ対象はサーバー側で設定します。
着信拒否	×	かかってきた電話を拒否する機能です。 ※設定すると、プログラマブルキーが赤色に点灯します。
回線閉塞	*87	通話中や不在など、あらかじめ応答できないことが分かっている場合に、回線を話中状態にできる機能です。 回線閉塞が割り当てられているプログラマブルキーを押したあとに、閉塞したい外線キーを押します。 ※設定すると、プログラマブルキー(外線キー)が橙色に点灯します。
ヘッドセット	×	ヘッドセットを使用して通話するときに使用します。(P.4-15) ※プログラマブルキーを押すと、青色に点灯します。
音声呼出	*83	ダイヤルした相手先を着信させず、音声で直接呼び出す機能です。 キーを押してダイヤルすると、呼び出し先の電話機のスピーカー機能が有効になります。 ※KXシリーズ、IP200H、IP210H、VP-2100以外の電話機には音声呼び出しできません。 ※プログラマブルキーを押すと、緑色に点灯します。
自己保留	×	通話中の相手を待たせるときに使用します。 ※ほかの電話機から通話できません。 ほかの電話機から通話したいときは、パーク保留、または外線保留をしてください。(P.3-10)

■プログラマブルキー(リモートコミュニケーターモード)

キー割当	説明
メッセージ	よく使うメッセージを送信する機能です。 キーを押すと、設定されたメッセージを表示します。(P.4-8)
ワンタッチ	特定の呼出種別、または相手を選択する機能です。 送信中：赤色点灯、受信中：緑色点灯、複信通信中：橙色点灯 トークグループを割当時：青色点灯
受信音声ミュート	受信時に、音声をミュートする機能です。 キーを長押しするごとに、受信音声ミュート機能のON/OFFを切り替えます。
ヘッドセット	ヘッドセットを使用して通信するときに使用します。(P.4-17) ※プログラマブルキーを押すと、青色に点灯します。

トークグループ呼び出しについて

どのグループに所属するかを、端末側で選択できる機能です。同じトークグループに所属するほかの端末とグループ呼び出しができます。

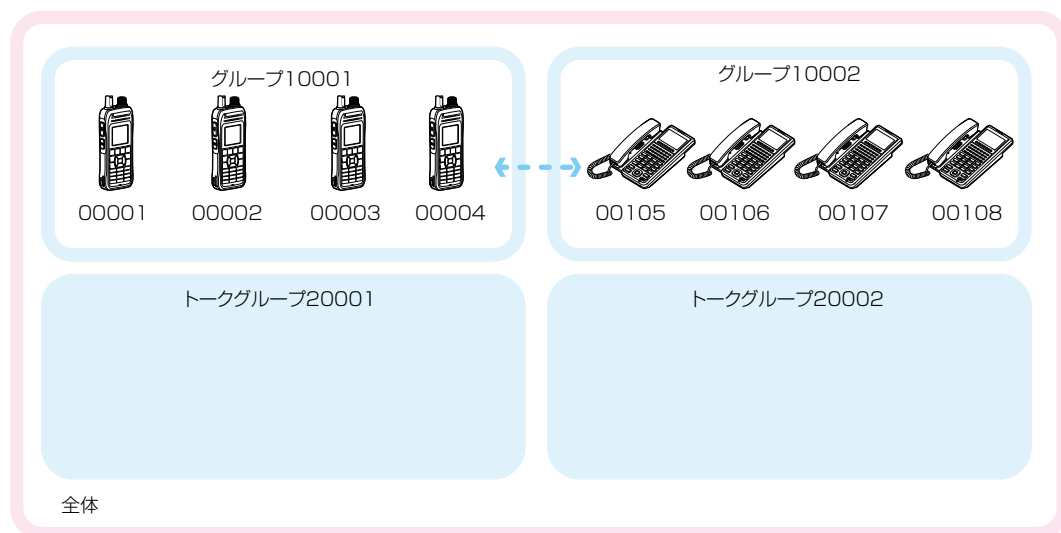
図のように、トークグループ(例：20001)を選択すると、その端末(例：00105)は通常のグループ(例：10002)からはずれます。

※サーバー側で、トークグループ番号が設定されていて、動作モードが「リモートコミュニケーター」、または「IP電話＋リモートコミュニケーター」のときに、使用できます。

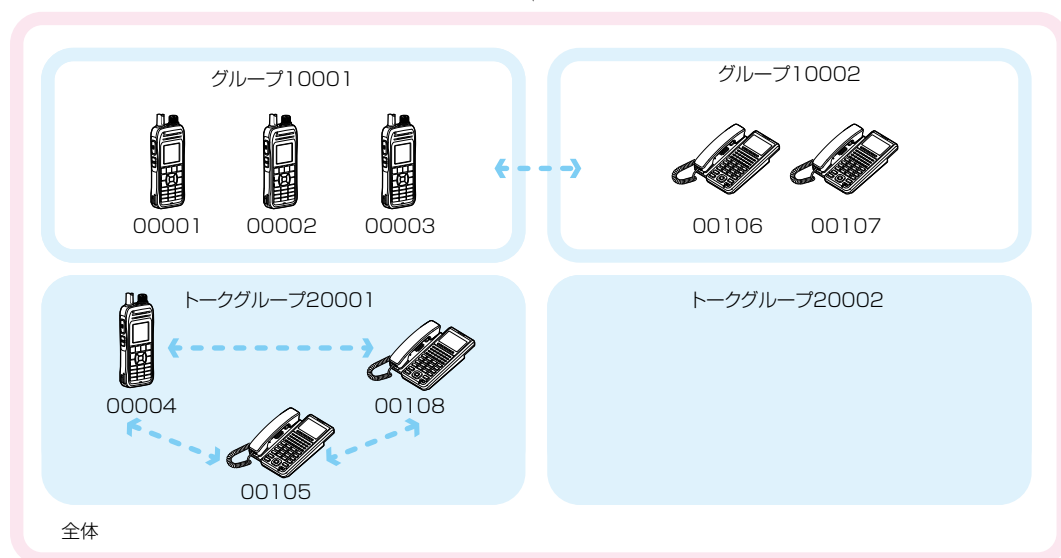
※トークグループの選択方法は、4-6 ページをご覧ください。

※通常のグループ呼び出し、全体呼び出しの対象にトークグループを含めるかどうかなどは、サーバー側で設定してください。

トークグループOFF時



トークグループ選択時



4 応用操作

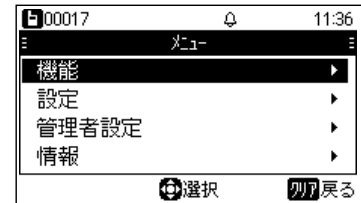
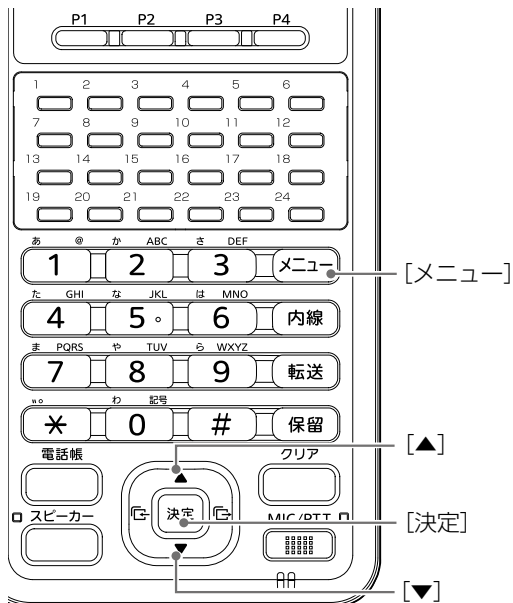
トークグループを選択するときは

動作モード：「リモートコミュニケーター」、「IP電話+リモートコミュニケーター」

■ トークグループをメニューから選択する

サーバー側で、トークグループ番号が設定されているときに使用できます。

1. [メニュー]を押します。
 2. 「機能」を選択し、[決定]を押します。
 3. [▲]/[▼]を押して、「トークグループ」を選択し、[決定]を押します。
 4. 使用したいトークグループを選択し、[決定]を押します。
 - 同じグループ番号(例：TG1004)を選択したほかの端末と、通話できる状態になります。
- ※トークグループを選択したとき、通常のグループ呼び出しは、使用できません。(P.3-15)
- ※トークグループを解除するときは、「OFF」を選択します。



トークグループ選択時



4 応用操作

トークグループを選択するときは

動作モード：「リモートコミュニケーター」、「IP電話+リモートコミュニケーター」

■ トークグループをアドレス帳から選択する

サーバー側で、トークグループ番号が設定されているときに使用できます。

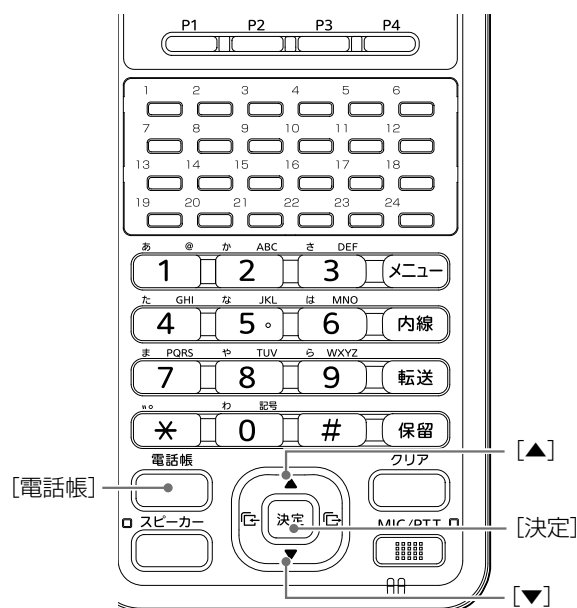
1. [電話帳]を押します。
2. [▲]/[▼]を押して、「トークグループ」を選択し、[決定]を押します。
3. 使用したいトークグループを選択し、[決定]を押します。
 - 同じグループ番号(例：TG1004)を選択したほかの端末と、通話できる状態になります。

※トークグループを選択したとき、通常のグループ呼び出しは、使用できません。(P.3-15)

※トークグループを解除するときは、別の呼出種別を選択します。



トークグループ選択時



4 応用操作

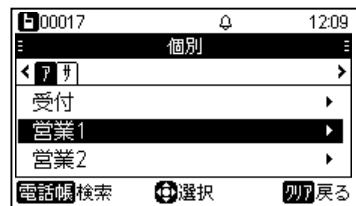
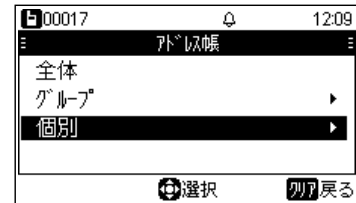
メッセージを送信するときは

動作モード：「リモートコミュニケーター」、「IP電話+リモートコミュニケーター」

サーバー側で、メッセージの送信が設定されているときに使用できます。

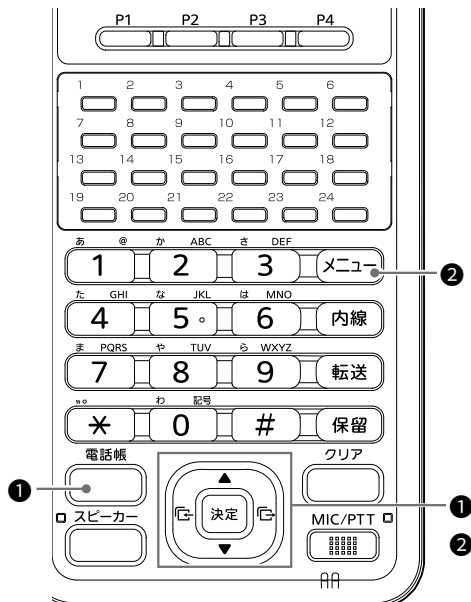
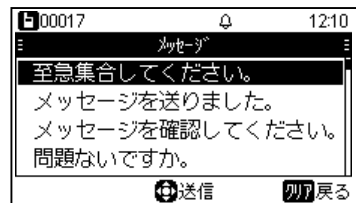
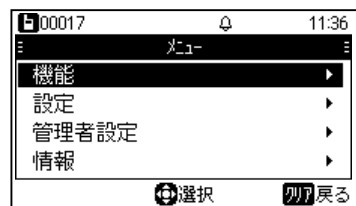
① 送信先を選択する

1. 「電話帳」を押します。
2. 「▲」/「▼」を押して、「個別」を選択し、「決定」を押します。
※トークグループを使用する場合は、4-6 ページをご覧ください。
3. 相手先を選択し、「決定」を押します。
※送信先は、履歴からも選択できます。



② メッセージを選択して送信する

1. 「メニュー」を押します。
2. 「機能」を選択し、「決定」を押します。
3. 「メッセージ」を選択し、「決定」を押します。
4. 「▲」/「▼」を押して、送信するメッセージを選択し、「決定」を押します。
• メッセージが送信されて、待受画面に戻ります。

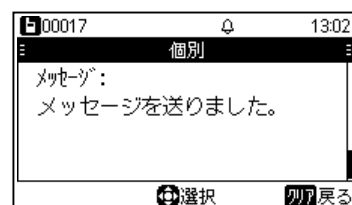
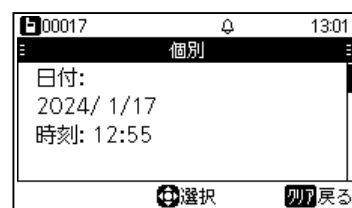
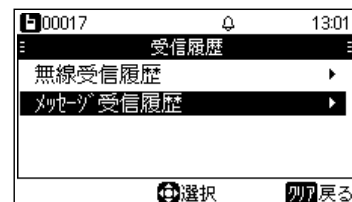
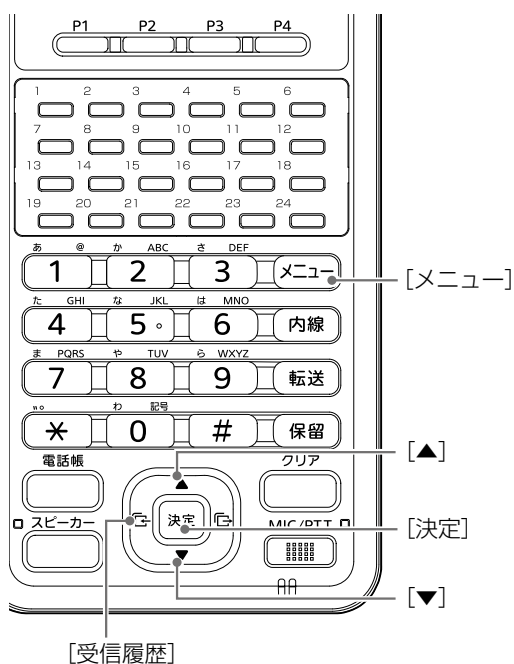


4 応用操作

受信したメッセージを確認するときは

動作モード：「リモートコミュニケーター」、「IP電話+リモートコミュニケーター」

1. [受信履歴] を押します。
2. [▲]/[▼]を押して、「メッセージ受信履歴」を選択し、[決定]を押します。
3. 確認するメッセージを選択します。
※[▼]を押すごとに、日時⇒名称⇒番号⇒メッセージと切り替わります。



4 応用操作

プレゼンスを送信するときは

動作モード：「リモートコミュニケーター」、「IP電話+リモートコミュニケーター」

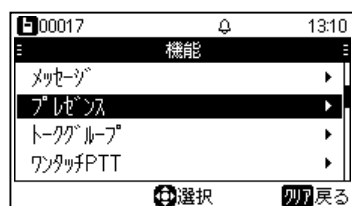
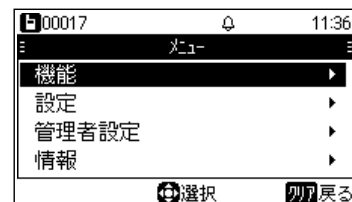
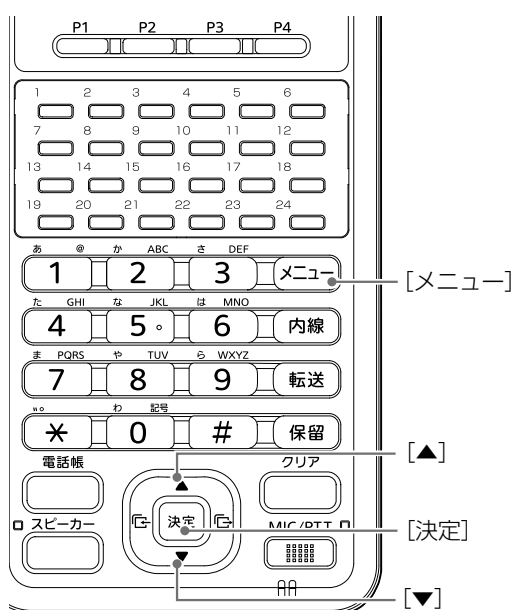
サーバー側で、送信するステータス(例：食事中/会議中)が設定されているときに使用できます。

1. [メニュー]を押します。
2. [▲]/[▼]を押して、「プレゼンス」を選択し、[決定]を押します。
3. 送信するステータスを選択し、[決定]を押します。

送信したプレゼンス情報を閲覧するには

プレゼンス情報は、コントローラーのWEB画面、またはIP100FS(リモートコミュニケーター)の画面で確認できます。

※詳しくは、弊社ホームページに掲載している各コントローラーの取扱説明書(PDFファイル)をご覧ください。



ポケットビープ/Pベル機能について

動作モード：「リモートコミュニケーター」、「IP電話+リモートコミュニケーター」

■ ポケットビープ機能について

呼び出しを受けたときに、受信通知音とアイコンの点滅でお知らせする機能です。

※サーバー側で、設定されているときに使用できます。

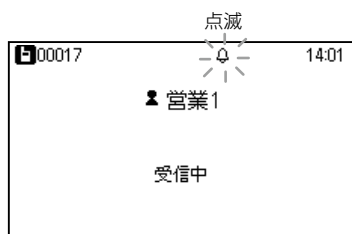
受信通知音とポケットビープ機能が設定されている呼出種別があるときは、「」が点灯します。

その呼出種別で呼び出しを受けると、受信通知音とアイコンの点滅でお知らせします。

待受画面



個別呼び出し受信時



■ Pベル機能について

呼び出しを受けたときに、受信通知音でお知らせする機能です。応答するまで、相手の音声をミュート(聞こえないように)します。

※[MIC/PTT]を押して応答すると、音声ミュートを解除し、相手の音声聞こえます。

※サーバー側で、設定されているときに使用できます。

受信通知音とPベル機能が設定されている呼出種別があるときは、「」が点灯します。

その呼出種別で呼び出しを受けると、受信通知音でお知らせします。

待受画面



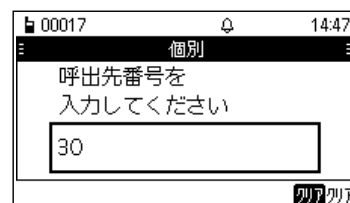
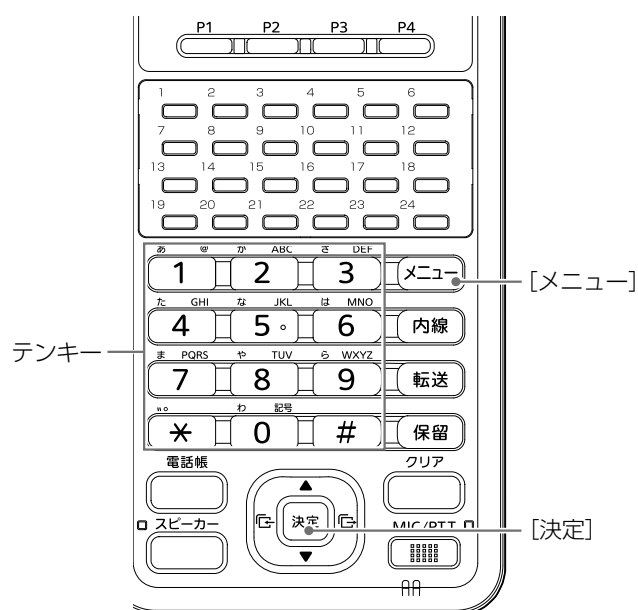
4 応用操作

テンキー呼出について

動作モード：「リモートコミュニケーター」

テンキーで相手先(個別番号、グループ番号)を入力したあと、[MIC/PTT]を押すと、アドレス帳にない相手も呼び出しできます

※メニュー⇒機能⇒テンキー呼出で設定できます。(P.5-2)



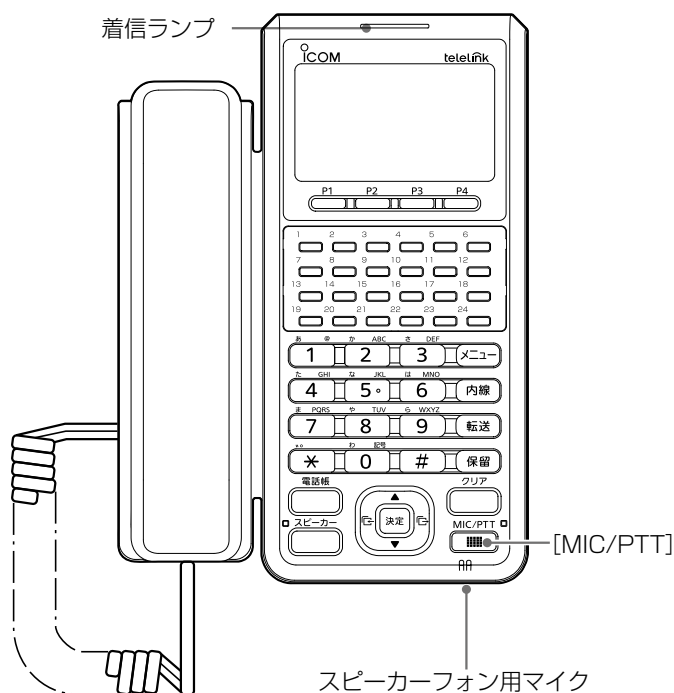
4 応用操作

緊急呼び出しを受けるときは

動作モード：「リモートコミュニケーター」、「IP電話+リモートコミュニケーター」

1. 「緊急」と呼び出し先が表示され、警告音(ピロピロ…)が一定の間隔で鳴ります。
 - 受信中は、着信ランプが赤色点滅します。
 - ※サーバー側で、警告音が無効に設定されているときは、鳴りません。
2. [MIC/PTT]を押しながら、スピーカーフォン用マイクに向かって、応答します。
 - 警告音(ピロピロ…)が停止します。
 - [MIC/PTT]を押しているあいだは、着信ランプが赤色に点灯します。

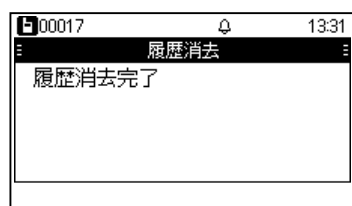
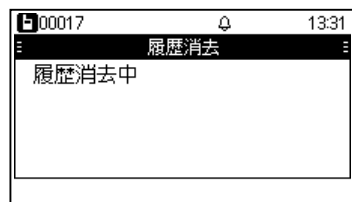
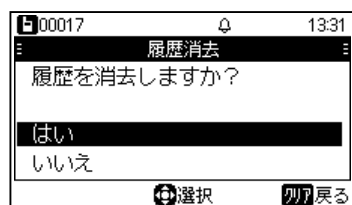
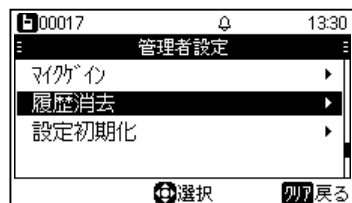
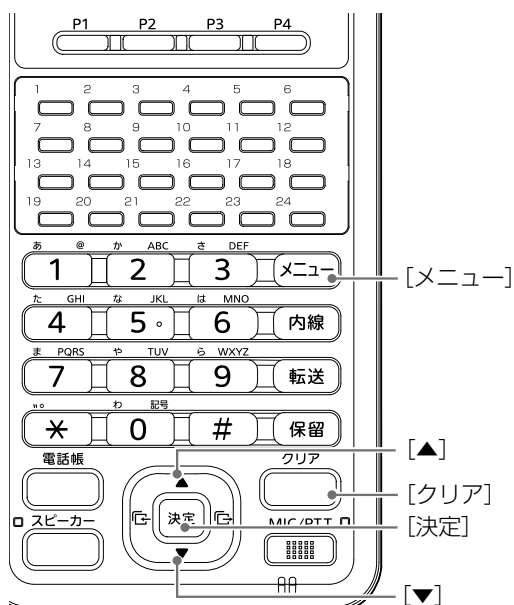
緊急呼び出し受信中



4 応用操作

履歴をすべて消去するときは

1. [メニュー]を押します。
2. [▲]/[▼]を押して、「管理者設定」を選択し、[決定]を押します。
 - 「管理者設定」を押したときにパスワード入力画面が表示された場合は、現在使用しているパスワードを入力してください。
3. 「履歴消去」を選択し、[決定]を押します。
4. 「履歴を消去しますか？」と表示されたら、「はい」を選択します。
※メニューの選択画面に戻るときは、[クリア]を押します。



4 応用操作

ヘッドセットを使用するときは(IP電話モード)

動作モード：「IP電話」、「IP電話+リモートコミュニケーター」

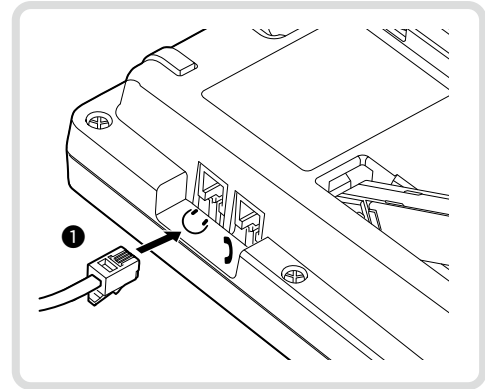
■ヘッドセットを使用して発信する

※サーバー側で、設定されているときに使用できます。

① 市販品のヘッドセットを差し込む

ヘッドセット差し込み口にヘッドセット(電話機用RJ9コネクター)を差し込みます。

※コネクターが奥まで差し込まれていることを確認してください。



② プログラマブルキー(ヘッドセット)を押す

ヘッドセットが割り当てられているプログラマブルキーを押します。

- ・プログラマブルキー(ヘッドセット)が青色に点灯します。

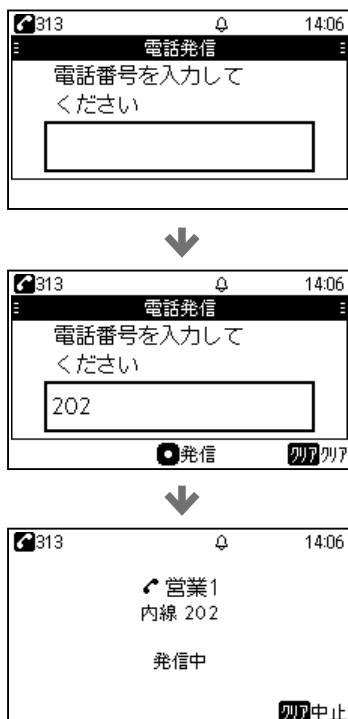
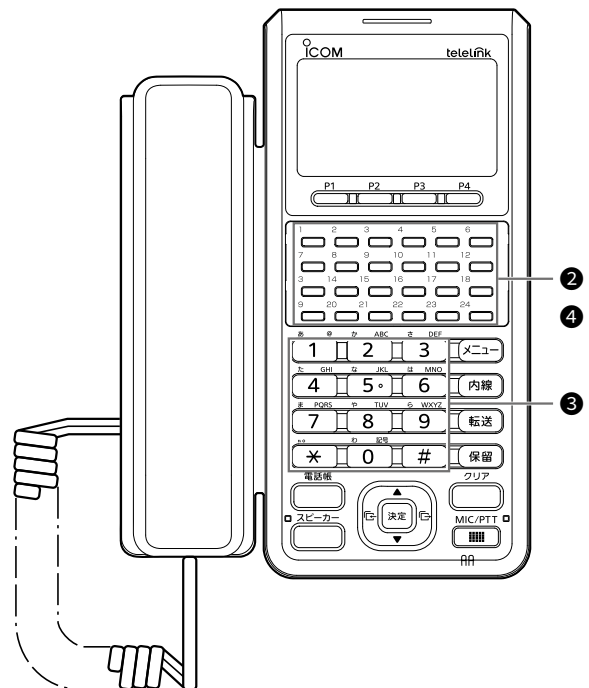
③ 電話番号を入力する

テンキーを押し、電話番号を入力します。

- ・[クリア]を押すと1文字削除、長押しするとすべて削除します。
- ・電話番号入力後、[決定]を押すと、すぐに発信できます。

④ 通話を終了する

プログラマブルキー(ヘッドセット)を押します。



4 応用操作

ヘッドセットを使用するときは(IP電話モード)

動作モード：「IP電話」、「IP電話+リモートコミュニケーター」

■ヘッドセットを使用して着信に応答する

ヘッドセットが正しく接続されている確認してください。
(P.4-15)

※サーバー側で、設定されているときに使用できます。

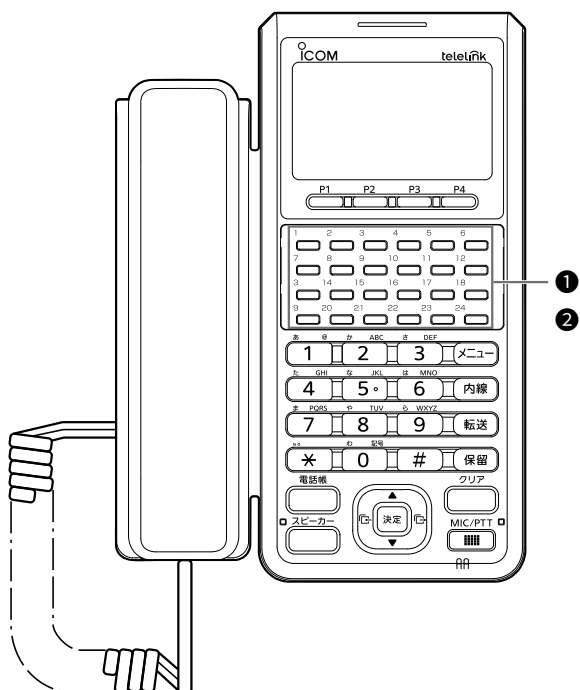
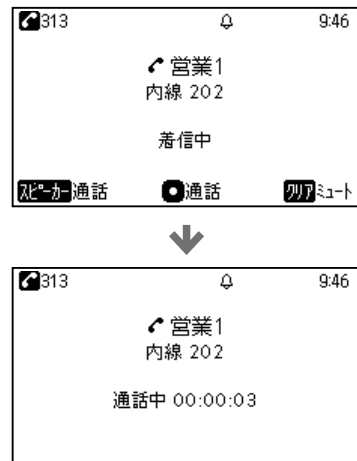
① 着信に応答する

ヘッドセットが割り当てられているプログラマブルキーを押して、着信に応答します。

- プログラマブルキー(ヘッドセット)が青色に点灯します。

② 通話を終了する

プログラマブルキー(ヘッドセット)を押します。



ハイブリッド受信時の操作

動作モード：「IP電話+リモートコミュニケーター」

■ 同時受信時の画面について

通話中に着信、または受信したときは、同時受信中の画面に切り替わります。

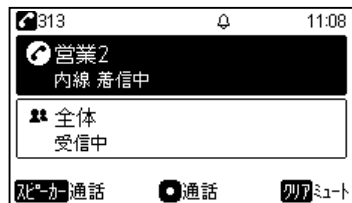
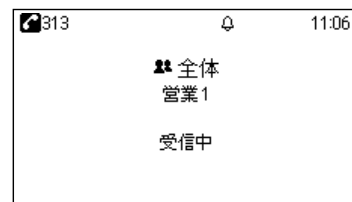
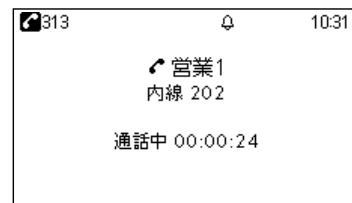
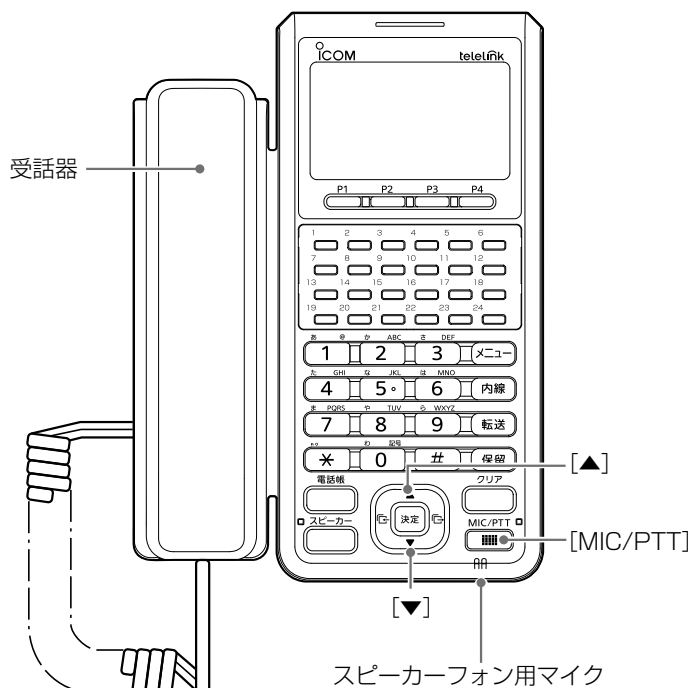
※サーバー側で、通話中のPTT押下、ハイブリッド受信を設定した場合で説明しています。

電話通話中に全体呼び出しに応答する

1. [▲]/[▼]を押して、「全体」を選択します。
 2. [MIC/PTT]を押して、呼び出しに応答します。
 - [MIC/PTT]を押すと、スピーカーフォン用マイクから送信され、一時的に電話がミュートされます。
- ※受話器には、受信した音声は流れません。
- ※サーバー側の設定によっては、[MIC/PTT]を押しても応答できません。
- ※サーバー側の設定によっては、[MIC/PTT]を押すと、電話が終話します。

無線機からの呼び出し中に電話に応答する

1. [▲]/[▼]を押して、「着信中」を選択します。
 - ※送信中に着信があったときは、着信音は鳴りません。
2. 受話器を上げて、電話に応答します。
 - [スピーカー]、[決定]を押しても操作できます。
3. 受話器を置いて、通話を終了します。
 - 無線機からの呼び出しが継続しているときは、無線通話に戻ります。



5 章

各種機能の設定(メニュー画面)

メニュー項目一覧.....	5-2
---------------	-----

5 各種機能の設定(メニュー画面)

メニュー項目一覧

各機能を変更できるメニュー画面について説明します。

※キーの操作は、各部の名称と機能(P.1-4)で説明しています。

※表示される設定項目や初期値は、弊社製VoIP機器の設定によって異なります。

項目	内容	選択肢/設定範囲
機能		
メッセージ★1★2	メッセージを送信する機能	設定された一覧を表示 最大10件
プレゼンス★1★2	プレゼンスを送信する機能	設定された一覧を表示 最大10件 ※設定されていない場合は、番号が表示されます。
トークグループ★1★2	所属するトークグループを選択	設定された一覧を表示
テンキー呼出★1★3	テンキーで呼出先を入力する機能	OFF、個別、グループ
ワンタッチPTT★1★2	[MIC/PTT]を短く押すごとに、送信と受信を切り替える機能 ※[ON]にすると、送信するときに、[MIC/PTT]を押しつづける必要がなくなります。	OFF、ON
設定		
受信/着信通知音量	受信、着信音量を設定する	0～8
キー操作音		
キー操作音	キーを操作したときの操作音	OFF、ON
キー操作音量★4	キーを操作したときの操作音量を設定	0～16
接続通知	相手先との接続に成功したときの通知音	OFF、ON
失敗通知	相手先との接続に失敗したときの通知音	OFF、ON
側音		
ハンドセット側音	受話器接続時の側音機能 ※[ON]にすると、受話器から自分の音声聞こえるようになり、話しやすくなります。	OFF、ON
ハンドセット側音音量★5	ハンドセット側音機能を使用するときの音量	0～15
ヘッドセット側音	ヘッドセット接続時の側音機能 ※[ON]にすると、ヘッドセットから自分の音声聞こえるようになり、話しやすくなります。	OFF、ON
ヘッドセット側音音量★6	ヘッドセット側音機能を使用するときの音量	0～15
エコーキャンセラー	エコーキャンセラー機能	OFF、ON
ノイズキャンセラー	ノイズキャンセラー機能	OFF、ON
バックライト		
バックライト	バックライトの点灯条件を設定	常時消灯、常時点灯、 操作時点灯
消灯輝度	バックライト消灯時、ディスプレイの明るさ(輝度)	0～16
点灯輝度	バックライト点灯時、ディスプレイの明るさ(輝度)	0～16
コントラスト	ディスプレイのコントラスト(濃淡)	1～16

★1 コントローラー側で設定されている場合に表示されます。

★2 動作モードが「IP電話」の場合は、表示されません。

★3 動作モードが「リモートコミュニケーター」の場合に表示されます。

★4 キー操作音を設定すると表示される項目です。

★5 ハンドセット側音機能を設定すると表示される項目です。

★6 ヘッドセット側音機能を設定すると表示される項目です。

5 各種機能の設定(メニュー画面)

メニュー項目一覧

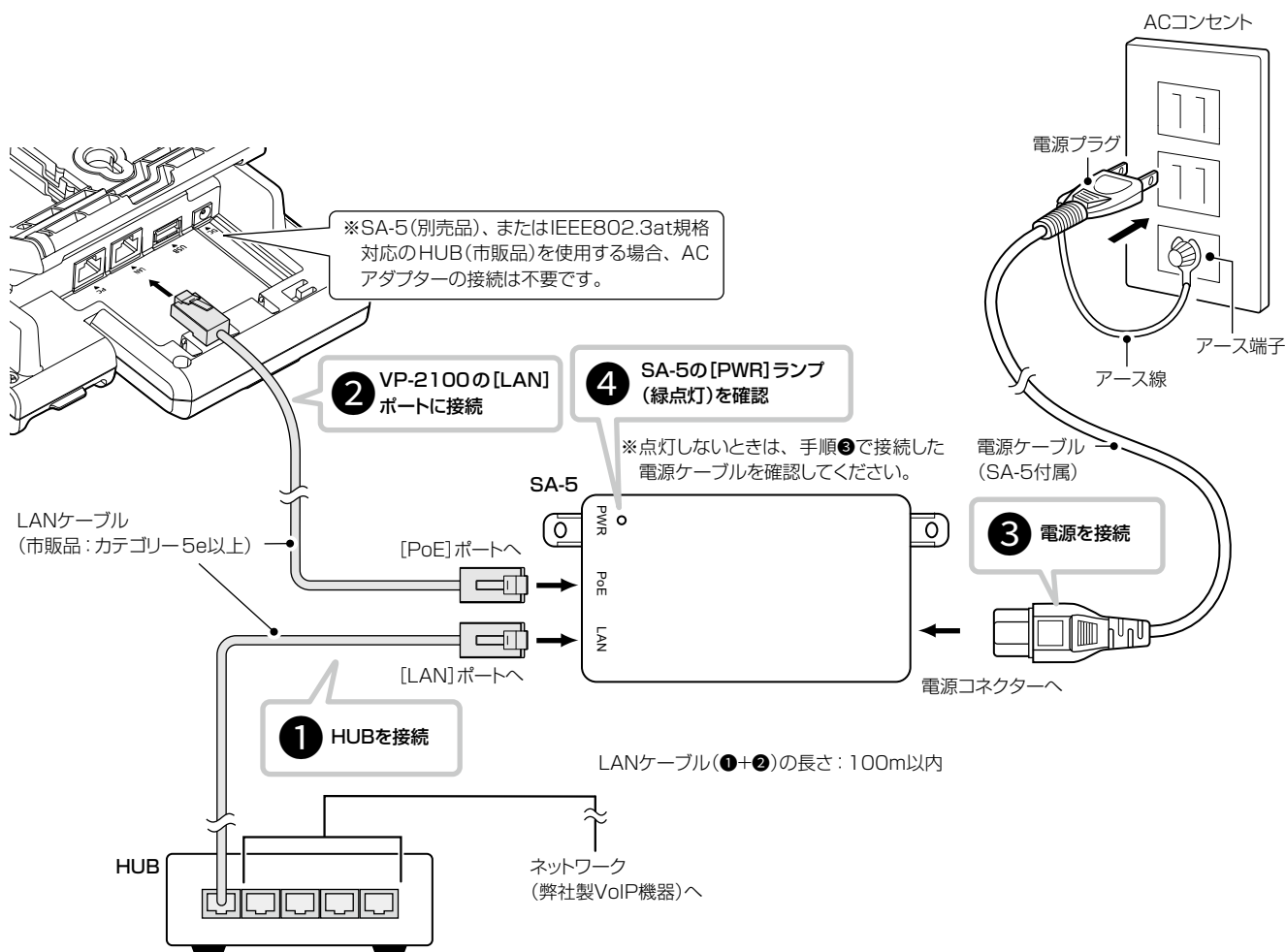
項目	内容	選択肢/設定範囲
設定		
ジッターバッファ		
ジッターバッファ	パケットの揺らぎによる音声途切れを軽減するために使用するジッターバッファ	スタティック、ダイナミック
ジッターバッファサイズ★ ⁷	パケットの揺らぎによる音声途切れを軽減するために使用するジッターバッファのサイズを設定	40msec～480msec (40msec刻み)
不在着信表示	「着信あり」メッセージの表示、非表示を設定	ON、OFF
再起動	本製品を再起動する	はい、いいえ
管理者設定		
動作モード	動作モードを設定	IP電話+リモートコミュニケーター、IP電話、リモートコミュニケーター
ネットワーク		
IPアドレス自動取得	IPアドレスをDHCPサーバーから自動で取得するかどうかの設定	OFF、ON
IPアドレス	IPアドレスを手動で設定する場合に、ネットワークシステム管理者から指定されたIPアドレスを入力	—
サブネットマスク	サブネットマスク(同じネットワークで使用するIPアドレス範囲)を設定	—
デフォルトゲートウェイ	IPアドレスとネットワーク部が異なる接続先と通信する場合、パケット転送先機器のIPアドレスを入力	—
プライマリーDNSサーバー	使用するDNSサーバーのアドレスが2つある場合は、優先したい方のIPアドレスを入力	—
セカンダリーDNSサーバー	使用するDNSサーバーのアドレスが2つある場合は、DNSサーバーのもう一方を入力	—
IP電話		
保守サーバー	保守用サーバーに指定しているSIPサーバーのIPアドレスを入力	—
電話番号	VoIP機器で指定した電話番号(内線番号)を入力	最大15桁
ID	VoIP機器で設定したID(内線番号)を入力	最大15桁
パスワード	VoIP機器で設定したパスワードを入力	最大31文字 半角英数、記号
リモートコミュニケーター		
保守サーバー	保守用サーバーに指定しているコントローラーのIPアドレスを入力	—
TRX番号	コントローラーで登録したTRX番号を入力	1～300
パスワード	コントローラーに接続するためのパスワードを設定	最大12文字 半角英数、記号
マイクゲイン	マイクロホンの感度	－12dB(低)～12dB(高) (3dB刻み)
履歴消去	すべての履歴を削除	はい、いいえ
設定初期化	初期化(初期値に戻す)	はい、いいえ
情報		
SIP	レジストしているSIPサーバーの情報を表示	—
ネットワーク	接続しているネットワークの状態を表示	—
端末情報	本製品の自局番号、内線番号を表示	—
システム	本製品のファームウェアバージョンを表示	—

★⁷ ジッターバッファ機能で「スタティック」を設定すると表示される項目です。

PoEによる電源供給について	6-2
個別電話帳の書き込み.....	6-3
故障かな？と思ったら.....	6-4
アフターサービスについて.....	6-5
定格について.....	6-6
■ 一般仕様	6-6
■ インターフェース	6-6

PoE による電源供給について

本製品の[LAN]ポートに接続されたLANケーブルとSA-5(別売品)を接続して、本製品に電源を供給する接続方法について説明します。



- ① SA-5の[LAN]ポートとHUB*をLANケーブルで接続します。
★SA-5は、MDI(ストレート)/MDI-X(クロス)を切り替えできません。
- ② SA-5の[PoE]ポートと本製品の[LAN]ポートを、LANケーブルで接続します。
- ③ SA-5に付属の電源ケーブルを、SA-5の電源コネクタとACコンセントに接続します。
- ④ SA-5の[PWR]ランプが緑点灯していることを確認します。
※点灯しない場合は、手順③で接続した電源ケーブルを確認してください。

設置と接続のご注意

- ◎ PoE機能に対応しているのは、SA-5の[PoE]ポートと本製品の[LAN]ポートです。
- ◎ 1台のSA-5で電源供給できるのは、本製品1台だけです。
- ◎ SA-5には、電源が必要ですので、コンセントから近い場所に設置してください。
- ◎ SA-5には、HUBなどのネットワーク機器に搭載のリピーター機能を搭載していません。
使用するLANケーブルは、HUBからSA-5を介して接続された本製品までの総延長距離が100m以内の場所に設置してください。
- ◎ SA-5は防水構造ではありませんので、雨水などでぬれやすい場所には設置できません。

個別電話帳の書き込み

本製品の[USB]ポートに、電話帳ファイルを保存したUSBメモリー(市販品)を接続することで、個別電話帳を書き込むことができます。

※USBメモリーから本製品へ個別電話帳の書き込みはできますが、本製品に書き込まれた電話帳をUSBメモリーへ出力することはできません。

※指紋認証型、アプリケーション認証(パスワード認証)型など、セキュリティ対応型のUSBメモリーは使用できません。

※ご使用になる前に、あらかじめ、USBメモリー内のデータをバックアップしてください。

対応するUSBストレージデバイス規格

インターフェース：USB2.0/1.1

デバイス：USB 大容量デバイス(USB Mass Storage Class)

フォーマット：FAT32/exFAT(FAT16やNTFSなど、ほかのフォーマットには対応していません。)

※すべてのUSB対応周辺機器で動作を保証するものではありません。

本製品に個別電話帳を書き込む

- 電話帳ファイルを準備してUSBメモリーのルートディレクトリーに保存します。
※ファイル名は、必ず「phonebook.csv」に変更してください。
「phonebook.csv」以外のファイル名では、USBメモリーからの書き込みに使用できません。
- 本製品の電源を切った状態で、本製品の[USB]ポートにUSBメモリーを差し込みます。
- 本製品の電源を入れます。
・データの読み込みが終わると、待受画面が表示されます。
- USBメモリーを取りはずします。

電話帳ファイルの書式

下記条件で編集したファイル以外の書き込みは、保証対象外になります。

ファイル名：phonebook.csv

文字コード：UTF-8(BOM付き)/Shift_JIS

	A	B	C	D	E	F	G	H	I
1	#番号	名前	電話番号			ヨミガナ			回線種別
2	1	ICOM1	12345678			アイコム1	0	0	0
3	2	ICOM2	98745612			アイコム2	0	0	0
4	3	営業所1	12345679			エイキョウショ1	0	0	0
5									

A列：登録番号(個別電話帳：1～500)、重複しない番号を入力

B例：名前(半角30(全角15)文字以内)

C列：電話番号(15桁以内)

D列：文字の入力はしないこと(入力すると、内容は無効になる)、列は削除しないこと

E列：文字の入力はしないこと(入力すると、内容は無効になる)、列は削除しないこと

F列：ヨミガナ(任意の半角30文字以内)

G列：0を入力

H列：0を入力

I列：回線種別(外線：0、内線：1)

ご注意

◎ A列、C列には、コメント行(A列の#ではじまる行)を除き、重複しない番号を入力してください。

上記画面の列では、1行がコメント行です。

◎ JIS第2水準、旧字体などの一部で、正しく表示されない文字があります。

◎ 必ず電源を切った状態で、USBメモリーを接続してください。

◎ IEEE802.3af規格のHUBを接続した場合は、本製品のUSBポートを使用できません。

故障かな?と思ったら

下記のような現象は故障ではありませんので、修理を依頼される前にもう一度お調べください。
それでも異常があるときは、弊社サポートセンター(P.6-5)までお問い合わせください。

現象	原因	処置	参照
受話器を上げても何も聞こえない	受話器コードが抜けている	受話器コードが正しく接続されているかを確認する	P.1-8
	LANケーブルが抜けている	LANケーブルが正しく接続されているかを確認する	P.1-8
着信音が鳴らない	着信音量が最小に調整されている	着信中に[音量(+)]を押して、着信音を調整する	P.1-4
相手の声が小さい	受話器の音量が小さくなっている	受話器の音量を大きくする	P.1-4
	スピーカーの通話音が小さくなっている	スピーカーの通話音量を大きくする	P.1-4
相手に伝わる声が小さい	マイクから離れすぎている	送話口、またはスピーカーフォン用マイクに近づいて話す	P.3-14
内線で呼び出すとほかの電話機が鳴る	内線番号を間違えている	内線番号を確認しかけなおす	—
「  」が表示される	SIPサーバーに未接続	ネットワーク設定、IP電話モード設定を確認する	P.2-3 P.2-6
	LANケーブルが抜けている	LANケーブルが正しく接続されているか確認する	P.1-8
	SIPサーバーの電源が入っていない	SIPサーバーの電源が入っているかを確認する	—
「  」が表示される	コントローラーに未接続	ネットワーク設定、リモートコミュニケーターモード設定を確認する	P.2-3 P.2-9
	LANケーブルが抜けている	LANケーブルが正しく接続されているか確認する	P.1-8
	コントローラーの電源が入っていない	コントローラーの電源が入っているか確認する	—
電話着信履歴、電話着信履歴が表示されない	動作モードが「リモートコミュニケーターモード」になっている	動作モードを「IP電話」、または「IP電話+リモートコミュニケーター」に変更する	P.2-5
	リモートコミュニケーター優先になっている	IP電話優先に切り替える	P.2-5
受信履歴、送信履歴が表示されない	動作モードが「IP電話」になっている	動作モードを「リモートコミュニケーター」、または「IP電話+リモートコミュニケーター」に変更する	P.2-5
	IP電話優先になっている	リモートコミュニケーター優先に切り替える	P.2-5
[保留]を押しても保留されない	パーク、または外線キーがプログラマブルキーに割り当てられていない	サーバー側で、プログラマブルキーにパーク、または外線キーを割り当てる	P.3-13
		自己保留を使用する	P.3-10

アフターサービスについて

「故障かな?と思ったら」(P.6-4)にしたがって、もう一度、本製品の設定などを調べていただき、それでも異常があるときは、次の処置をしてください。

保証期間中は

お買い上げの販売店にお問い合わせください。

保証規定にしたがって修理させていただきますので、保証書を添えてご依頼ください。

保証期間後は

お買い上げの販売店にお問い合わせください。

修理することにより機能を維持できる製品については、ご希望により有料で修理させていただきます。

●保証書について

保証書は販売店で所定事項(お買い上げ日、販売店名)を記入のうえお渡しいたしますので、記載内容をご確認いただき、大切に保管してください。

●弊社製品のお問い合わせ先について

お買い上げいただきました弊社製品にご不明な点がございましたら、下記のサポートセンターにお問い合わせください。

お問い合わせ先

アイコム株式会社 サポートセンター

0120-156-313(フリーダイヤル)

◆ 携帯電話・公衆電話からのご利用は、

06-6792-4949(通話料がかかります)

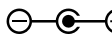
受付(平日 9:00～17:00)

電子メール: support_center@icom.co.jp

アイコムホームページ: <https://www.icom.co.jp/>

定格について

■一般仕様

電 源： DC12V±10% []
※ACアダプター(別売品)は、AC100V±10%
※PoEはIEEE802.3at準拠
最大13W(別売品のACアダプター使用時)
最大19W(PoE使用時)

動 作 環 境： 温度0～40℃、湿度5～95%(結露状態を除く)

外 形 寸 法： 170.5(W)×236.8(D)×85.4(H)mm(突起物を除く)

重 量： 約920g(受話器含む)

■インターフェース

L A N： RJ45型×1 (10/100Mbps)
 ※IEEE802.3at準拠

P C： RJ45型×1 (10/100Mbps)

U S B： USB Type-A (USB2.0)×1

受 話 器： RJ9型

ヘ ッ ド セ ッ ト： RJ9型

※ 定格・仕様・外観等は、改良のため予告なく変更する場合があります。

How the World Communicates

～コミュニケーションで世界をつなぐ～

